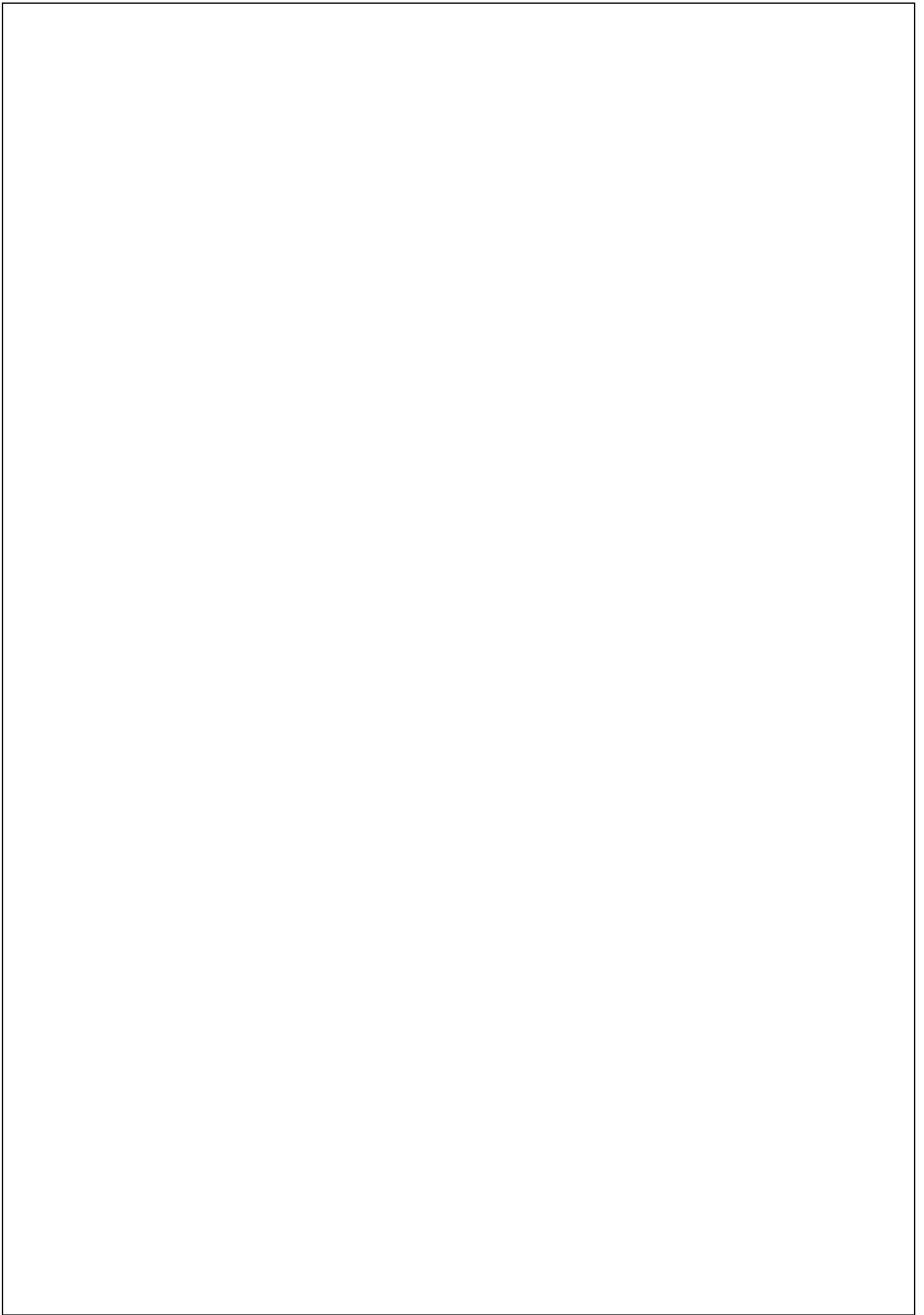


第2期神栖市スポーツ振興基本計画

（素案）

令和2年3月

神栖市教育委員会



はじめに

新たに幕をあけた令和という時代とともに、本市のスポーツを取り巻く環境も大きな変化を迎えました。「いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会 2019」では、テニス、カヌースプリント、グラウンド・ゴルフの開催地としての重責を無事に果たすことができました。また、スポーツツーリズムによる交流人口の増加、地域経済活性化を目的に平成 30 年度にスポーツツーリズム推進室を設置しました。令和元年6月には「かみす防災アリーナ」が開館し、各種スポーツ大会やプロスポーツ興行、大規模イベントの開催を実現し、本市のスポーツ振興の一翼を担っております。

また昨今の日本スポーツ界は成長著しく、世界最高のパフォーマンスを期待されている選手達が日々努力を重ねています。記憶に新しいところでは、ラグビーワールドカップ 2019 において、『ONE TEAM(ワンチーム)』をスローガンに掲げる日本代表が躍進し、日本国内だけでなく世界中に大きな感動を与え、あらためてスポーツの素晴らしさを感じたところであります。

このようにスポーツに対する機運が高まるなか、より一層市民の皆様の期待に応える各種施策を展開していくため、新たに令和2年度からの10年間を見据え「第2期神栖市スポーツ振興基本計画」を策定いたしました。

本計画では、「生涯健康スポーツ活動の推進」、「スポーツ施設の整備・充実」、「スポーツ推進体制の整備」、「茨城国体を契機とした更なる競技力向上対策の推進」、「スポーツによるまちの活力づくりの推進」を5つの基本目標として掲げております。

今後も市民との協働により、子どもから高齢者まで、誰もが、それぞれの体力や目的に応じて、身近な地域で「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指して各種施策に取り組んでまいりますので、皆様の積極的な参画と、より一層のご協力をお願い申し上げます。

むすびに、本計画の策定にあたりまして、貴重なご意見ご提言をいただきました神栖市スポーツ推進審議会委員の皆様をはじめ、アンケートなどにご協力をいただきました市民の皆様や関係各位に心から感謝申し上げます。

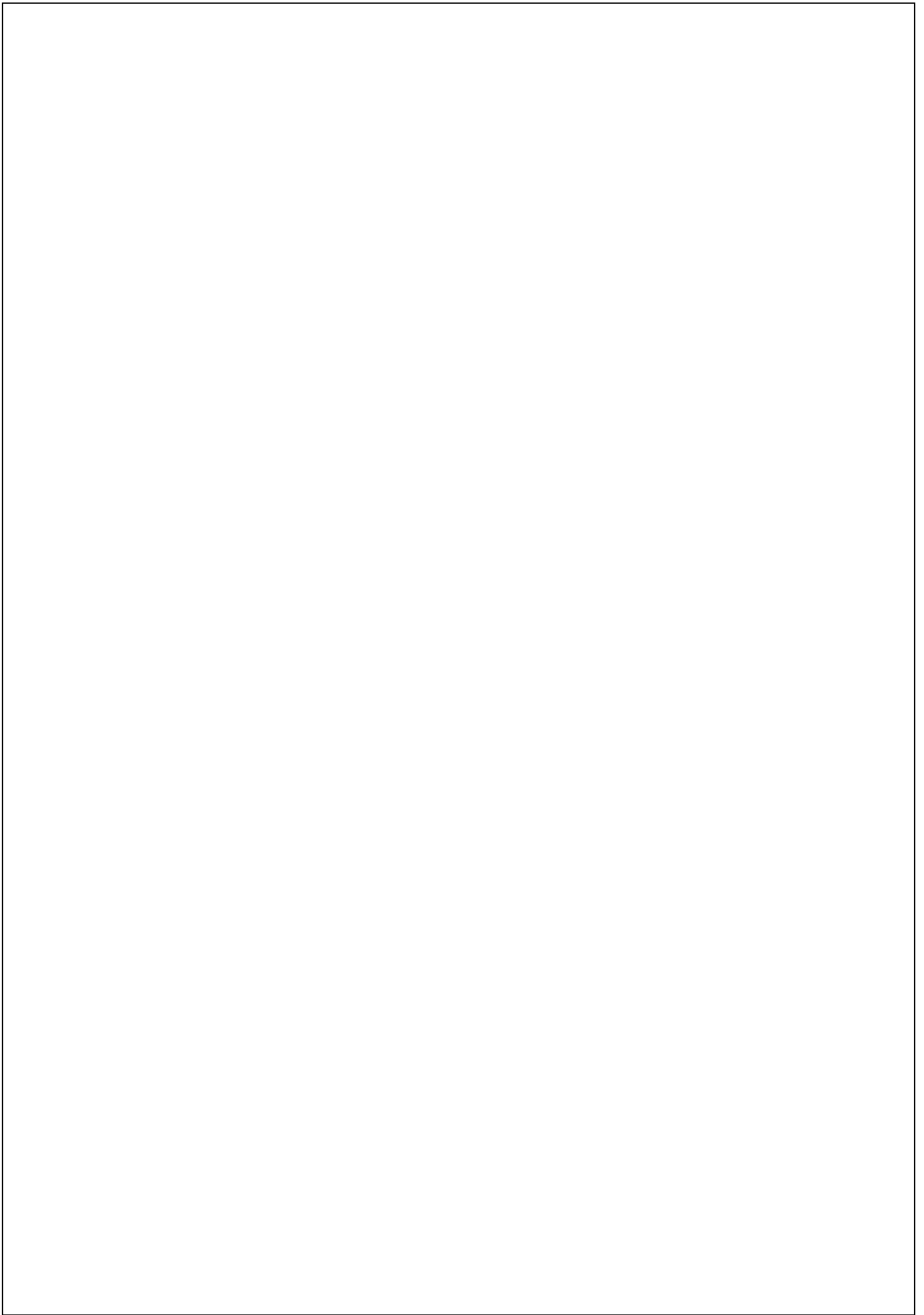
令和2年3月

神栖市教育委員会
教育長 新橋 成夫

目 次

目 次.....	1
第1章 計画策定にあたって	1
1 計画策定の趣旨	1
2 国・県・市の動き	2
(1) 国の動き	2
(2) 県の動き	4
(3) 市の動き	5
3 計画の概要	6
(1) 計画の位置づけ	6
(2) 計画期間	7
第2章 意識調査結果	8
1 スポーツに関する市民意識調査	8
(1) 調査の概要	8
(2) 主な調査結果	9
2 スポーツに関する団体等意識調査	15
(1) 調査の概要	15
(2) 主な調査結果	16
3 調査結果からみえる課題	21
(1) 市民意識調査	21
(2) 団体等意識調査	23
第3章 本市におけるスポーツ環境について	24
1 スポーツ施設の整備状況	24
2 スポーツ指導者の育成	27
3 スポーツ推進等に向けての支援状況	27
4 スポーツ大会等の開催状況	28
第4章 前スポーツ振興基本計画の施策評価	32
1 前スポーツ振興基本計画各施策別実施状況	32
(1) 基本目標1 生涯健康スポーツ活動の推進	32
(2) 基本目標2 スポーツ施設の整備・充実	35
(3) 基本目標3 スポーツ推進体制の整備	36
(4) 基本目標4 茨城国体の開催と競技力向上対策の推進	37
(5) 基本目標5 スポーツによるまちの活力づくりの推進	38

2 前スポーツ振興基本計画(後期計画)成果指標達成状況	38
第5章 計画の基本的な考え方	39
1 基本理念	39
2 基本方針	39
3 基本目標	40
4 計画の成果指標	41
5 施策の体系	42
第6章 施策の展開	45
1 基本目標1 生涯健康スポーツ活動の推進	45
2 基本目標2 スポーツ施設等の整備・充実	48
3 基本目標3 スポーツ推進体制の整備	49
4 基本目標4 茨城国体を契機とした更なる競技力向上対策の推進	51
5 基本目標5 スポーツによるまちの活力づくりの推進	51
第7章 計画の推進体制	52
1 スポーツ行政の総合的な推進と進行管理	52
(1) 市民との協働	52
(2) スポーツ団体等との連携	52
(3) 行政関係部署との連携	52
2 計画の進行	52
3 計画の進行管理	52
資料編	53
1 神栖市スポーツ振興基本計画策定委員会設置要項	53
2 第2期神栖市スポーツ振興基本計画策定経過	55
3 神栖市スポーツ推進審議会委員名簿	56
4 第2期神栖市スポーツ振興基本計画策定委員会委員名簿	56



第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

本市では、平成 22 年 3 月に「神栖市スポーツ振興基本計画」を策定し、「市民ひとり・1 スポーツのまち」をキャッチフレーズに「みんなで築く 生涯スポーツ都市 かみす」の将来像の実現を目指して、これまで各種施策・事業を推進してきました。また、平成 27 年 3 月には、平成 27 年度から平成 31 年度(令和元年度)までの 5 年間を計画期間とする「神栖市スポーツ振興基本計画後期計画」を策定しました。

後期計画においては、平成 31 年度(令和元年度)が計画期間の最終年度を迎えることから、令和 2 年度を初年度とする、令和 11 年まで 10 年間の「第 2 期神栖市スポーツ振興基本計画」を策定するものです。

さて、平成 31 年度(令和元年度)は、第 74 回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体 2019」が開催され、県内各地で多くの競技大会が行われました。(第 19 回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会 2019」は、台風 19 号の接近に伴い全日程中止となりました。)本市においては、正式競技としてテニス(於：神栖海浜庭球場)、カヌースプリント(於：神之池特設カヌー競技場)、公開競技として、グラウンド・ゴルフ(於：神栖中央公園)が行われ、盛況のうちに幕を閉じました。

ラグビーワールドカップ 2019 では、激戦を戦い抜いた日本代表チームが見事ベスト 8 に名乗りを上げました。『ONE TEAM(ワンチーム)』をスローガンとして掲げた日本代表の躍進は、日本国内だけでなく世界各地でも大きな感動を与えました。また、昨今の日本スポーツ界は成長著しく、世界最高のパフォーマンスを期待されている選手が日々努力を重ねています。令和 2 年には、来たる「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催され、近隣の茨城カシマスタジアムではサッカー競技の実施が決定しており、スポーツに対する機運がますます高まっています。

本計画の策定にあたっては、このようなスポーツに対する機運の上昇とともに、国のスポーツ基本計画や県のスポーツ推進計画、本市の総合計画や関連計画との整合性を図りながら、市民や市内スポーツ団体の意向も踏まえたうえで、「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめる豊かでうるおいのあるスポーツ社会の実現と、スポーツツーリズムの推進により活気のあるまちづくりを目指して「第 2 期神栖市スポーツ振興基本計画」を策定します。

2 国・県・市の動き

(1) 国の動き

■スポーツ立国戦略 2010 年策定

スポーツ立国戦略 の目指す姿	新たなスポーツ文化の確立 ～すべての人々にスポーツを！ スポーツの楽しみ・感動を分かち、支え合う社会へ～
基本的な考え方	1. 人(する人、観る人、支える(育てる)人)の重視 2. 連携・協働の推進
5つの重点戦略	① ライフステージに応じたスポーツ機会の創造 ② 世界で競い合うトップアスリートの育成・強化 ③ スポーツ界の連携・協働による「好循環」の創出 ④ スポーツ界における透明性や公平・公正性の向上 ⑤ 社会全体でスポーツを支える基盤の整備

■第2期スポーツ基本計画

スポーツ基本計画は、「スポーツ基本法」第9条第1項の規定に基づき策定され、文部科学大臣がスポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために定めるものであり、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって、スポーツ立国の実現を目指す上での指針となるものとして、策定されました。

第2期スポーツ基本計画は平成29年度から令和3年度の5年間を計画期間として策定しています。

◆スポーツ基本法(抜粋)◆ 2011 年制定

(地方スポーツ推進計画)

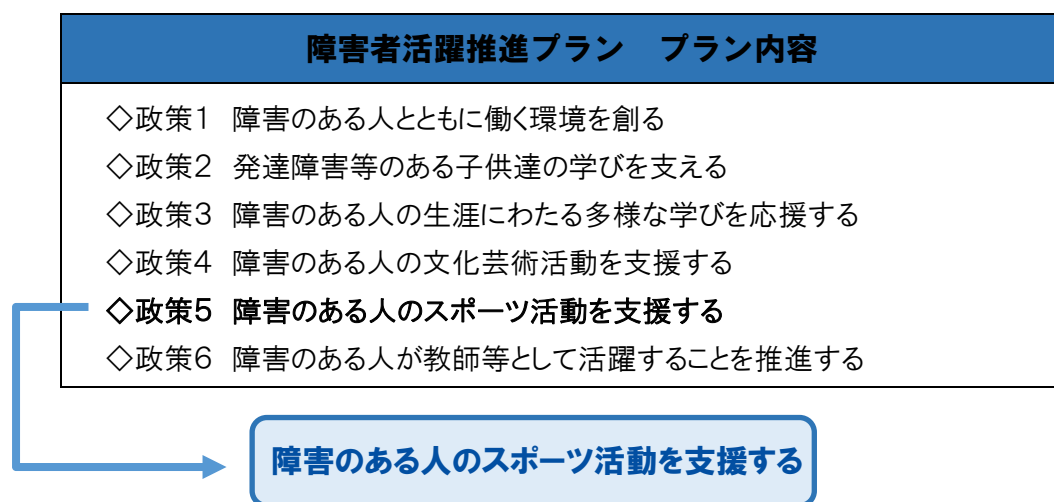
第十条 都道府県及び市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十四条の二第一項の条例の定めるところによりその長がスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（以下「特定地方公共団体」という。）にあっては、その長）は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（以下「地方スポーツ推進計画」という。）を定めるよう努めるものとする。

◆第2期スポーツ基本計画のスポーツ政策の基本方針◆

計画期間	平成29（2017）年度～令和3（2021）年度
中長期的な スポーツ政策の 基本方針	～スポーツが変える。未来を創る。Enjoy Sports, Enjoy Life～ 1. スポーツで「人生」が変わる！ 2. スポーツで「社会」を変える！ 3. スポーツで「世界」とつながる！ 4. スポーツで「未来」を創る！
今後5年間に 総合的かつ 計画的に取り組む 施策	1. スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実 2. スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現 3. 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備 4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

◆障害者活躍推進プラン

平成31年4月に文部科学省から「障害者活躍推進プラン」の概要が示されました。これは、「共生社会」の実現に向けた取組を加速し、より積極的に障害者の活躍の場の拡大を図るため、学校教育、生涯学習、スポーツ、文化芸術の各分野において、以下のとおりより積極的に進めるべき6つの政策プランからなっています。その中で、政策5として「障害のある人のスポーツ活動を支援する」を掲げ、障害のある人がスポーツをする環境の整備や拠点の整備、スポーツ観戦のしやすさの向上を推進することとしています。



～障害者のスポーツ活動推進プラン～

障害者が身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを加速化

- ① 小・中・高等学校に在籍する障害のある児童生徒のスポーツ実施環境の整備
＜大学における障害者スポーツの指導者育成のカリキュラム導入の推進等＞
- ② 障害のある人がスポーツを実施するための拠点の整備
＜スポーツを試すために必要な要素をそろえた普及拠点の見える化＞
- ③ スポーツイベントにおける障害者の観戦のしやすさの向上
＜会場づくりや運営方法について好事例を収集＞

(2) 県の動き

■「茨城県スポーツ推進計画」～いきいき茨城スポーツプラン～

茨城県においては、平成 16 年に「茨城県スポーツ振興基本計画」を策定し、平成 21 年に改訂しています。その中で、地域スポーツ、学校体育・スポーツ、競技スポーツ、県営スポーツの整備の 4 つの視点でスポーツの振興に取り組んできました。

また、平成 26 年度には、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 か年の次期計画となる「茨城県スポーツ推進計画 ～いきいき茨城スポーツプラン～」を策定し、計画期間の最終年度となる平成 31 年に開催された国民体育大会、全国障害者スポーツ大会の開催に向け、競技力の向上とともに県内各地域のスポーツ推進に向け、取り組んできました。

計画期間	平成 27 年度～平成 31 年度
基本理念	活力と生きがいのある生涯スポーツ社会の形成
基本方針と 具体的施策	【基本方針 1】 学校における子供の体育・スポーツの充実 【具体的施策】 1 学校における体育活動の充実 2 運動部活動の充実 3 幼児期における運動の充実 【基本方針 2】 ライフステージに応じた県民の運動やスポーツ活動の推進 【具体的施策】 1 ライフステージに応じた運動やスポーツ活動の機会の充実 2 運動やスポーツ活動を通じた交流の機会の創出 【基本方針 3】 国内外で活躍する本県選手の育成と強化 【具体的施策】 1 競技力向上対策の推進 2 障害者スポーツの推進 【基本方針 4】 スポーツ環境の整備と充実 【具体的施策】 1 スポーツ機会の充実 2 指導者の育成・活用とスポーツボランティアの養成・活用 3 障害者のスポーツ環境の充実

(3) 市の動き

■第2次神栖市総合計画 かみす共創まちづくりプラン

市の最上位計画である「第2次神栖市総合計画 かみす共創まちづくりプラン」(2018年度～2022年度)は、将来にわたって、市民が夢と希望を持ち、安心して暮らせる元気なまちを目指して、その実現に向けた新たなまちづくりの指針として策定しています。

その中で、分野別計画の「人を育み若者を育てるまちづくり」において、スポーツ振興に関わる施策として、「スポーツ・レクリエーション活動の振興」と「スポーツ・レクリエーション施設の充実」が触れられています。

① スポーツ・レクリエーション活動の振興

施 策	概要・方向
指定管理者制度の効果的活用	○スポーツ施設の管理・運営や市民のニーズに応えるスポーツ教室などを企画運営することにより、関係団体の育成、スポーツ活動の支援を図るとともに、施設の有効利用を促進します。
関連団体の支援	○スポーツを愛好する個人や団体活動の振興を図るため、体育協会や地域スポーツクラブなど、各種スポーツ大会や教室を自主的に企画運営するスポーツ団体の活動を支援します。
指導者の人材確保・育成	○地域コミュニティ活動や競技力の向上に欠かすことのできない指導者については、指導者育成研修会への参加支援などをおして、人材の確保と育成に努めます。
新たなスポーツの導入	○関係機関や団体と連携・協力し、子ども、高齢者、障がいのある方も心身の健康と体力づくりにつながり、楽しみながら継続できる新たなスポーツ種目の導入を検討します。

② スポーツ・レクリエーション施設の充実

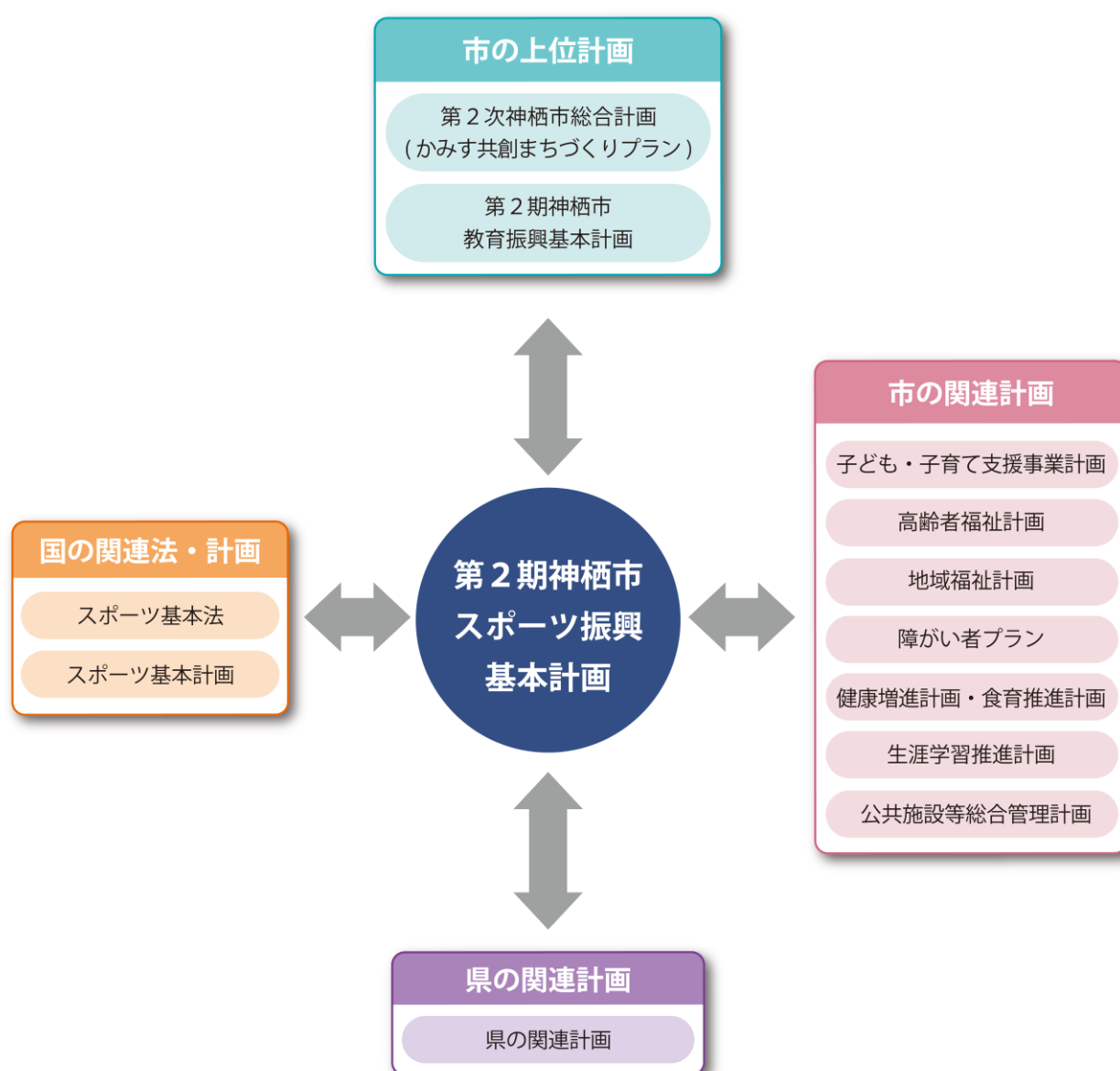
施 策	概要・方向
施設の充実と利用促進	○市民が快適に安心して利活用できるよう、施設の充実と計画的な整備を図ります。 ○市民の日常スポーツ活動に加え、多様なイベントに対応できるスポーツ活動拠点の整備を進めます。 ○指定管理者制度を効果的に活用し、市民のニーズに即した利用促進を図ります。
学校体育施設の効果的な活用	○スポーツサークルや地域コミュニティ活動を支援するため、より身近な学校体育施設の効果的な活用を推進します。

3 計画の概要

(1) 計画の位置づけ

本計画は、市の最上位計画である「第2次神栖市総合計画(かみす共創まちづくりプラン)」及び「神栖市教育振興基本計画」や他の関連計画との整合性を図るとともに、平成23年6月に制定された「スポーツ基本法」並びに国の「第2期スポーツ基本計画」(平成29年3月策定)や茨城県の「第2期スポーツ推進計画」(平成27年3月策定)の趣旨を踏まえ、市のスポーツ振興や方向性、取り組み内容を計画的に推進するための指針を示すものです。

〈上位計画・関連計画との関係図〉



(2) 計画期間

本計画は、令和 2 年度を初年度とし、令和 11 年度までの 10 年間を計画期間とします。また、中間年度に当たる令和 6 年度に見直しを実施するものとします。

《計画の期間》

平 成										令 和									
22 年度	23	24	25	26	27	28	29	30	元 年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
神栖市スポーツ振興 基本計画 (H22-26)					神栖市スポーツ振興 基本計画(後期計画) (H27-R元)														
										第 2 期神栖市スポーツ 振興基本計画 (R 2-11)									

第2章 意識調査結果

1 スポーツに関する市民意識調査

(1) 調査の概要

◆調査の目的

第2期神栖市スポーツ振興基本計画を策定するにあたり、市民の日ごろの運動やスポーツの実施状況、スポーツ施設に対する要望、今後の市のスポーツ施策についての考えなどを把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施しました。

◆調査対象、方法等

調査地域	市内全域
調査対象者	20歳以上の市内在住の市民
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査期間	令和元年11月25日(月)～令和元年12月10日(火)

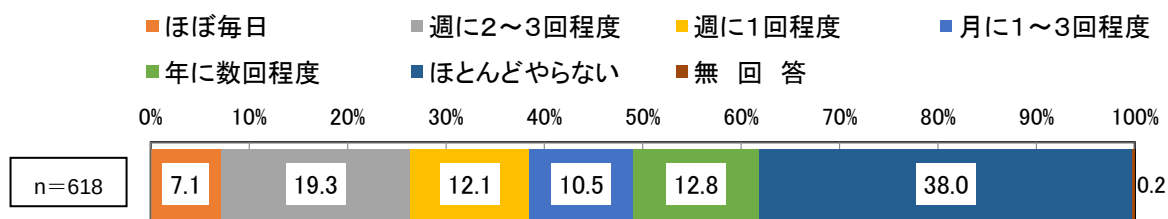
◆回収状況

配布数	回収数	回収率
2,000票	618票	30.9%

(2) 主な調査結果

(1) 運動やスポーツをする頻度

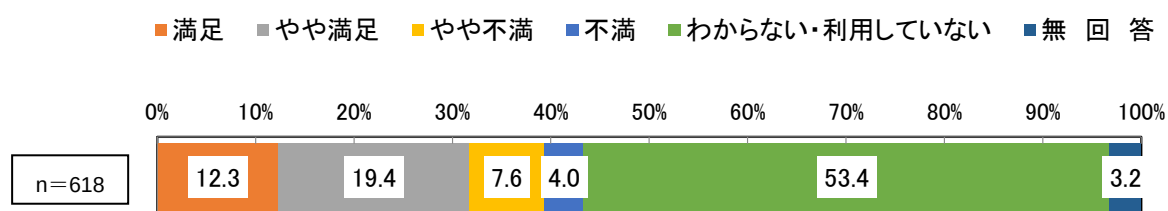
運動やスポーツをする頻度については、「ほとんどやらない」が38.0%と最も多く、次いで「週に2～3回程度」が19.3%、「年に数回程度」が12.8%、「週に1回程度」が12.1%、「月に1～3回程度」が10.5%、「ほぼ毎日」が7.1%の順となっています。



(2) 市スポーツ施設の満足度

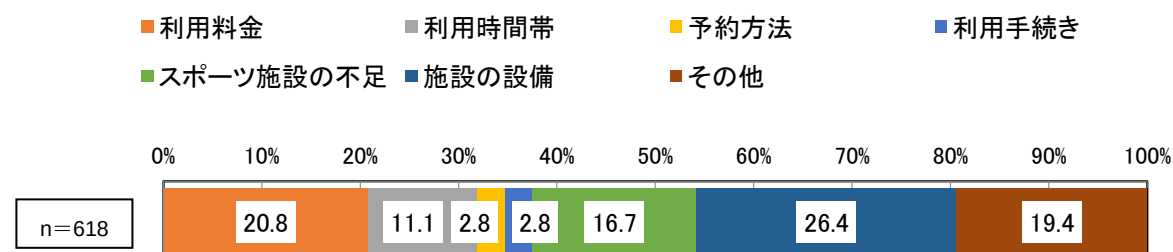
市スポーツ施設への満足度については、『満足』（「やや満足」と「満足」の合計）が31.7%、『不満足』（「やや不満」と「不満」の合計）が11.6%と『満足』の方が20.1ポイント多くなっています。

なお、「わからない・利用していない」は53.4%となっています。



(3) 不満の理由

不満の理由については、「施設の設備」が26.4%と最も多く、次いで「利用料金」が20.8%、「スポーツ施設の不足」が16.7%、「利用時間帯」が11.1%と続いています。



(4) この1年間に行った運動・スポーツ種目 今後やってみたい運動・スポーツ種目

この1年間に行った運動・スポーツ種目については、「ウォーキング」が42.2%と最も多く、次いで「ストレッチ」が22.3%、「体操(ラジオ体操等)」が15.4%、「ジョギング、ランニング」が15.2%、「ゴルフ各種」が12.6%、「水泳」が7.4%、「バドミントン」、「ウェイトトレーニング」がともに6.6%、「サッカー」が5.3%、「水中ウォーキング・アクアビクス等」が5.2%と続いています。

今後やってみたい運動・スポーツ種目については、「ウォーキング」が20.1%と最も多く、次いで「水中ウォーキング・アクアビクス等」が14.6%、「ストレッチ」が12.6%、「ジョギング、ランニング」が12.3%、「バドミントン」、「サイクリング」がともに11.2%、「水泳」が10.4%、「ゴルフ各種」が9.1%、「テニス」が8.9%、「スキー・スノーボード」が8.4%と続いています。

1年間に行った運動・スポーツ種目 n=618

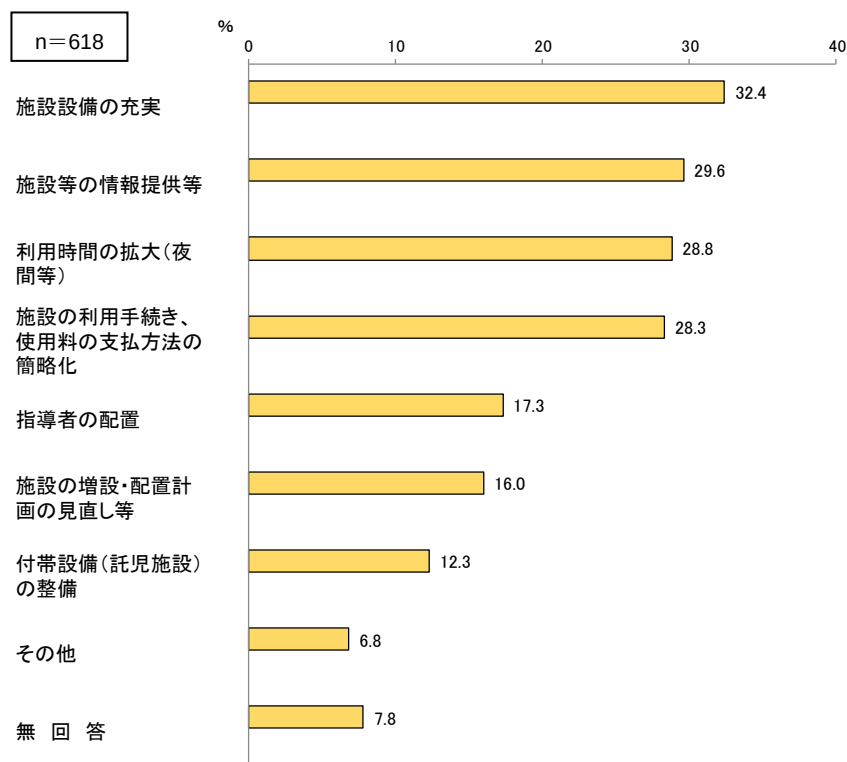
順位	種目	%
1	ウォーキング	42.2
2	ストレッチ	22.3
3	体操(ラジオ体操等)	15.4
4	ジョギング、ランニング	15.2
5	ゴルフ各種	12.6
6	水泳	7.4
7	バドミントン ウェイトトレーニング	6.6
9	サッカー	5.3
10	水中ウォーキング・ アクアビクス等	5.2
11	サイクリング	4.7
12	卓球(ラージボール卓球) スキー・スノーボード	4.4
14	バレーボール	4.2
15	テニス	4.0
16	バスケットボール	3.9
17	野球	3.7
18	マラソン	2.8
19	eスポーツ	1.1
20	ソフトボール	1.0
21	剣道	0.5
22	スポーツクライミング	0.3
23	ラグビー 柔道	0.2
25	弓道	0.0

今後やってみたい運動・スポーツ種目 n=618

順位	種目	%
1	ウォーキング	20.1
2	水中ウォーキング・ アクアビクス等	14.6
3	ストレッチ	12.6
4	ジョギング、ランニング	12.3
5	バドミントン サイクリング	11.2
7	水泳	10.4
8	ゴルフ各種	9.1
9	テニス	8.9
10	スキー・スノーボード	8.4
11	ウェイトトレーニング	7.6
12	体操(ラジオ体操等)	6.8
13	スポーツクライミング	6.1
14	卓球(ラージボール卓球)	4.7
15	バレーボール マラソン	4.5
17	eスポーツ	4.4
18	バスケットボール	4.0
19	野球	3.7
20	サッカー	3.6
21	弓道	2.8
22	ラグビー	1.5
23	剣道	1.1
24	柔道	0.6
25	ソフトボール	0.5

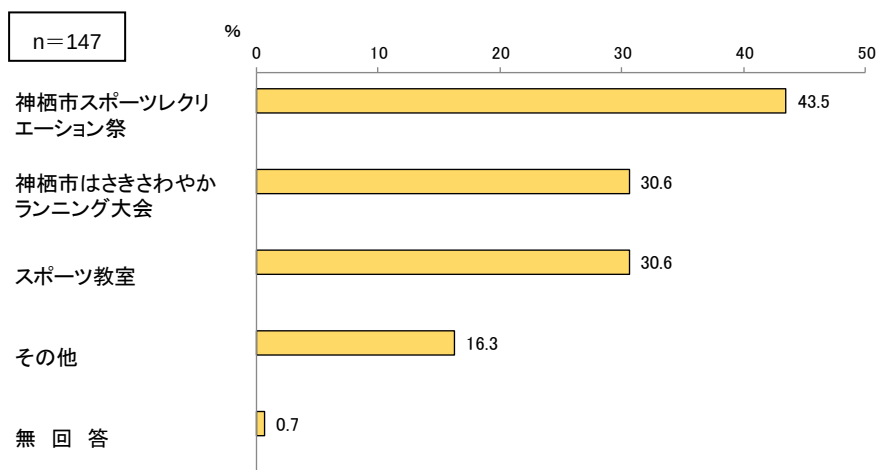
(5) 市スポーツ施設に望むこと

市スポーツ施設に望むことについては、「施設設備の充実」が32.4%と最も多く、次いで「施設等の情報提供等」が29.6%、「利用時間の拡大(夜間等)」が28.8%、「施設の利用手続き、使用料の支払方法の簡略化」が28.3%、「指導者の配置」が17.3%、「施設の増設・配置計画の見直し等」が16.0%、「付帯設備(託児施設)の整備」が12.3%の順となっています。



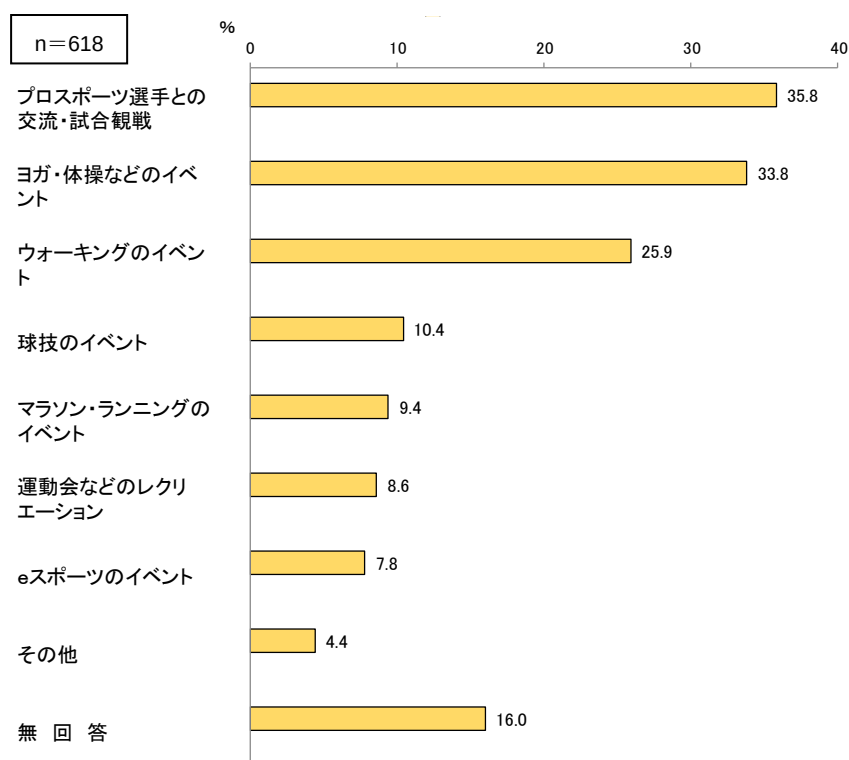
(6) 参加したスポーツイベント等

スポーツイベントに「参加したことがある」と回答した人に、参加したイベントを聞いたところ、「神栖市スポーツレクリエーション祭」が43.5%と最も多く、次いで「神栖市はさきさわやかランニング大会」、「スポーツ教室」がともに30.6%の順となっています。



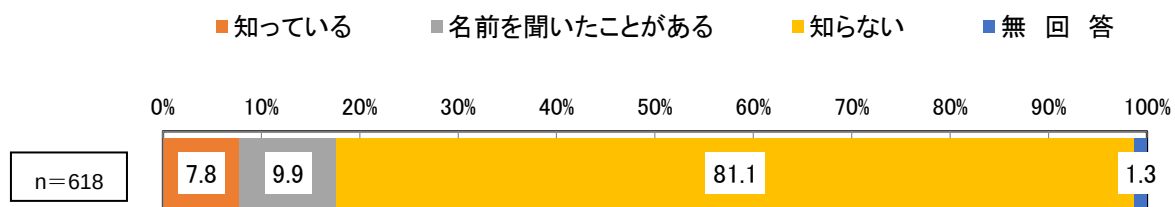
(7) 今後参加してみたいスポーツイベント

今後参加してみたいスポーツイベントについては、「プロスポーツ選手との交流・試合観戦」が35.8%と最も多く、次いで「ヨガ・体操などのイベント」が33.8%、「ウォーキングのイベント」が25.9%、「球技のイベント」が10.4%、「マラソン・ランニングのイベント」が9.4%、「運動会などのレクリエーション」が8.6%、「eスポーツのイベント」が7.8%の順となっています。



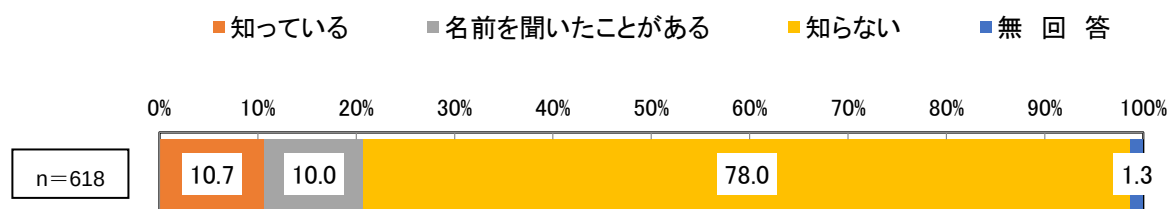
(8) 総合型地域スポーツクラブの認知状況

総合型地域スポーツクラブの認知状況については、「知らない」が81.1%、「名前を聞いたことがある」が9.9%、「知っている」が7.8%の順となっています。



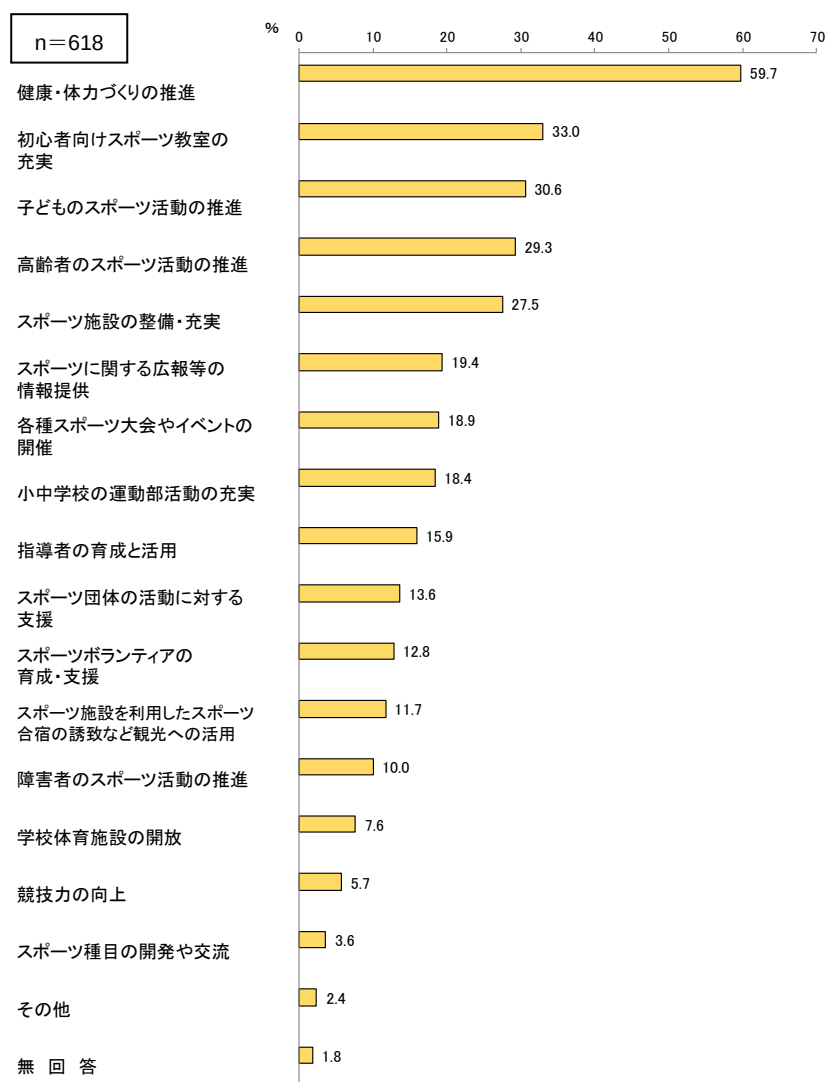
(9) 「かみすスポーツクラブ」の認知状況

「かみすスポーツクラブ」の認知状況については、「知らない」が78.0%、「知っている」が10.7%、「名前を聞いたことがある」が10.0%の順となっています。



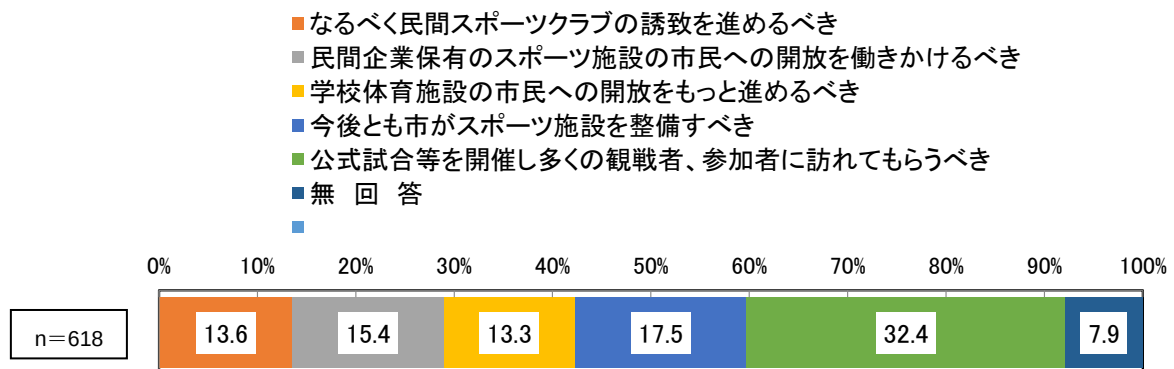
(10) 今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策

今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策については、「健康・体力づくりの推進」が59.7%、次いで「初心者向けスポーツ教室の充実」が33.0%、「子どものスポーツ活動の推進」が30.6%、「高齢者のスポーツ活動の推進」が29.3%、「スポーツ施設の整備・充実」が27.5%、「スポーツに関する広報等の情報提供」が19.4%、「各種スポーツ大会やイベントの開催」が18.9%、「小中学校の運動部活動の充実」が18.4%と続いています。



(11) 今後の市としての取り組み方について

今後の市としての取り組み方については、「プロスポーツの公式試合、各種スポーツ大会や合宿、催し物を開催し、多くの観戦者、参加者に訪れてもらえるような取り組みを進めるべき」が32.4%と最も多く、次いで「スポーツ環境を充実させるのは市の責務なので、今後とも市がスポーツ施設を整備すべき」が17.5%、「市内の民間企業が保有しているスポーツ施設の市民への開放を進めるよう働きかけるべき」が15.4%、「市でスポーツ施設を整備するのは財政負担となるので、なるべく民間スポーツクラブ（フィットネスクラブ等）の誘致を進めるべき」が13.6%、「市内の小・中学校・高校などの学校体育施設の市民への開放をもっと進めるべき」が13.3%の順となっています。



2 スポーツに関する団体等意識調査

(1) 調査の概要

◆調査の目的

第2期神栖市スポーツ振興基本計画を策定するにあたり、スポーツ団体等に日ごろの活動状況や市のスポーツ振興に対する意見、要望などを把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施しました。

◆調査対象、方法等

調査地域	市内全域
調査対象者	市内にあるスポーツ団体等
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査期間	令和元年12月10日(火)～令和元年12月23日(月)

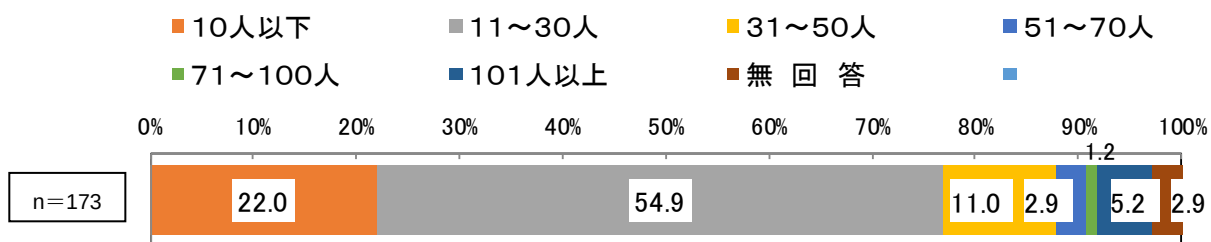
◆回収状況

配布数	回収数	回収率
300 票	173 票	57.7%

(2) 主な調査結果

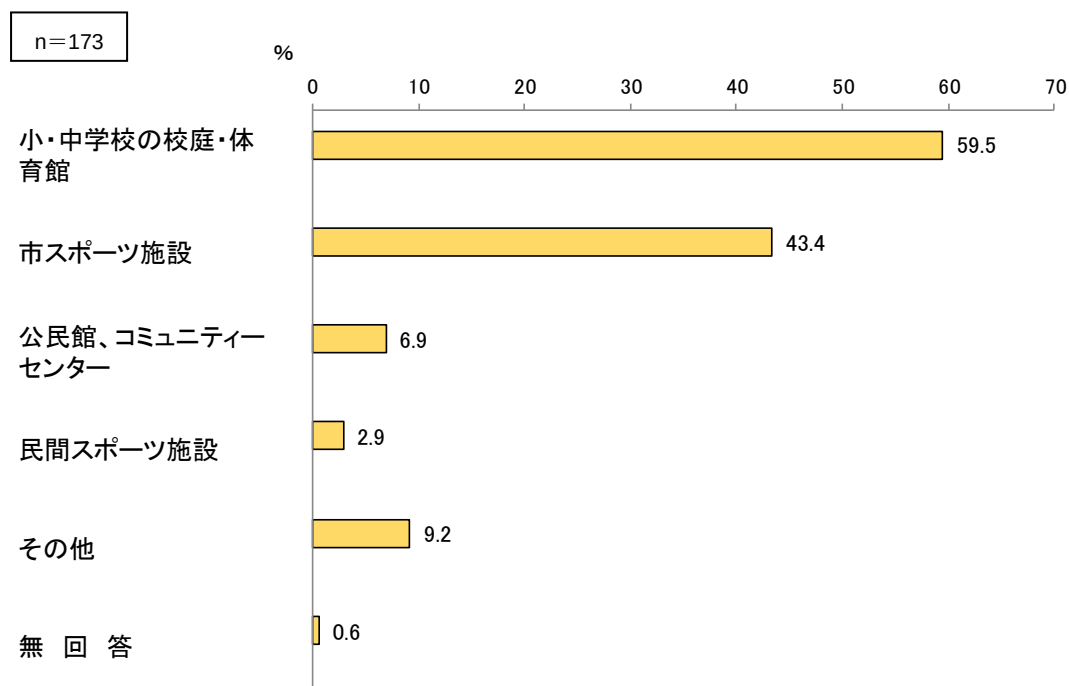
(1) 会員数

会員の人数については「11～30 人」が 54.9%と最も多く、次いで「10 人以下」が 22.0%、「31～50 人」が 11.0%、「101 人以上」が 5.2%、「51～70 人」が 2.9%、「71～100 人」が 1.2%の順となっています。



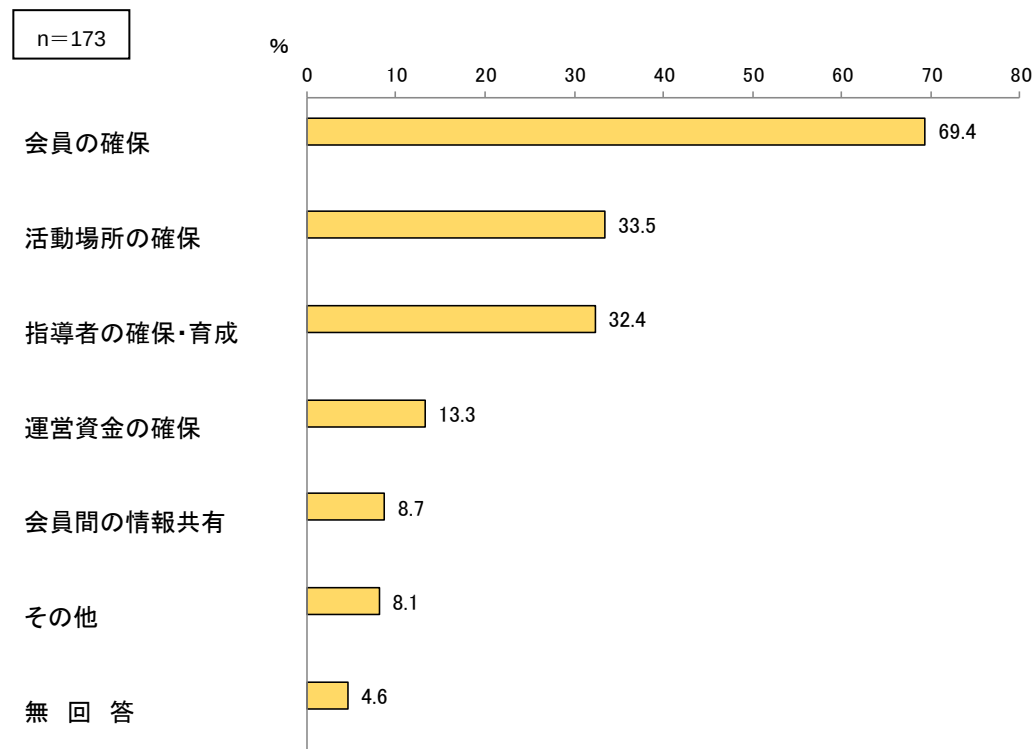
(2) 主な活動場所

主な活動場所については、「小・中学校の校庭・体育館」が 59.5%と最も多く、次いで「市スポーツ施設」が 43.4%、「公民館、コミュニティーセンター」が 6.9%、「民間スポーツ施設」が 2.9%の順となっています。



(3) 運営上の課題

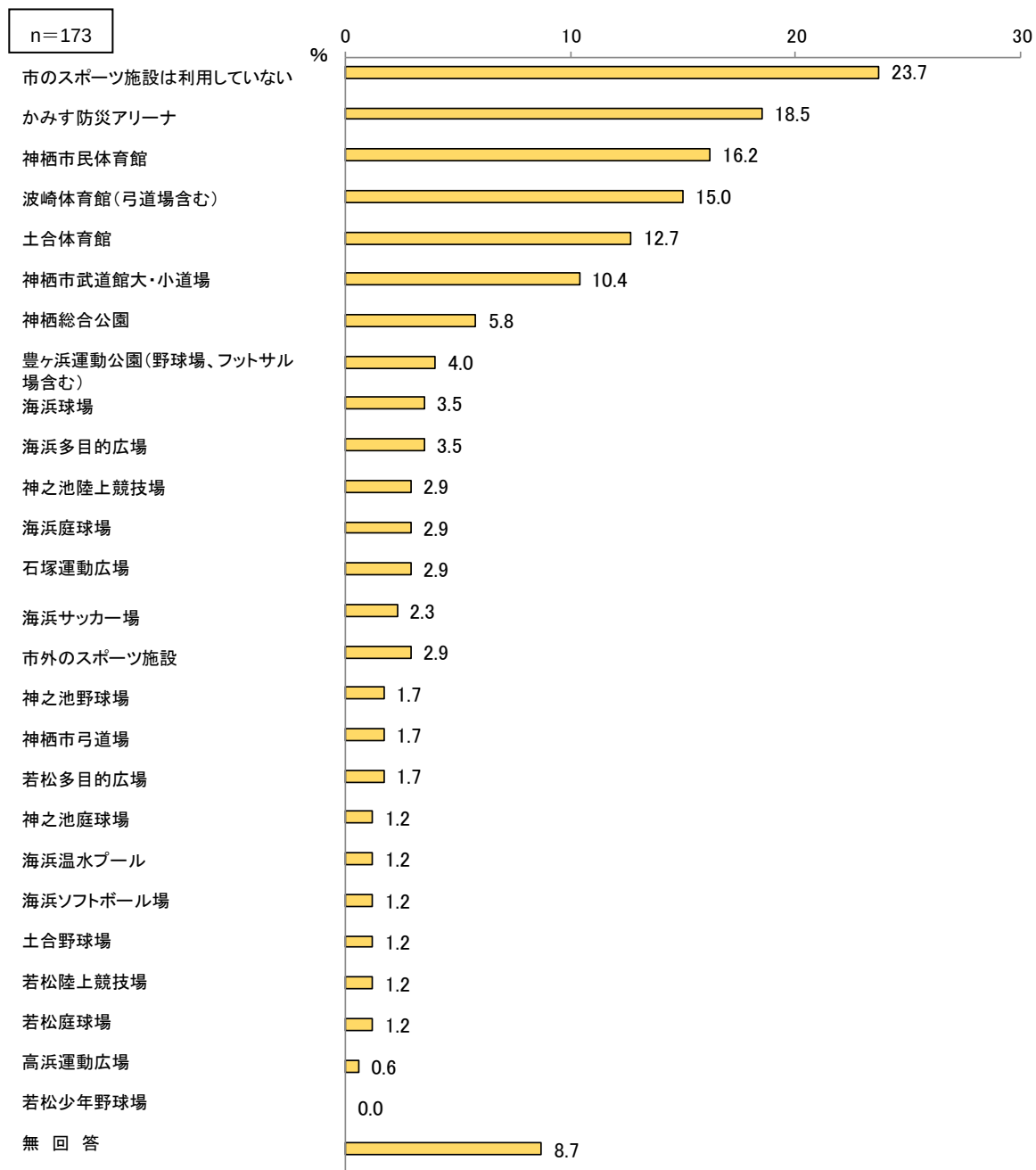
運営上の課題については、「会員の確保」が69.4%と最も多く、次いで「活動場所の確保」が33.5%、「指導者の確保・育成」が32.4%、「運営資金の確保」が13.3%、「会員間の情報共有」が8.7%の順となっています。



(4) 利用している市のスポーツ施設

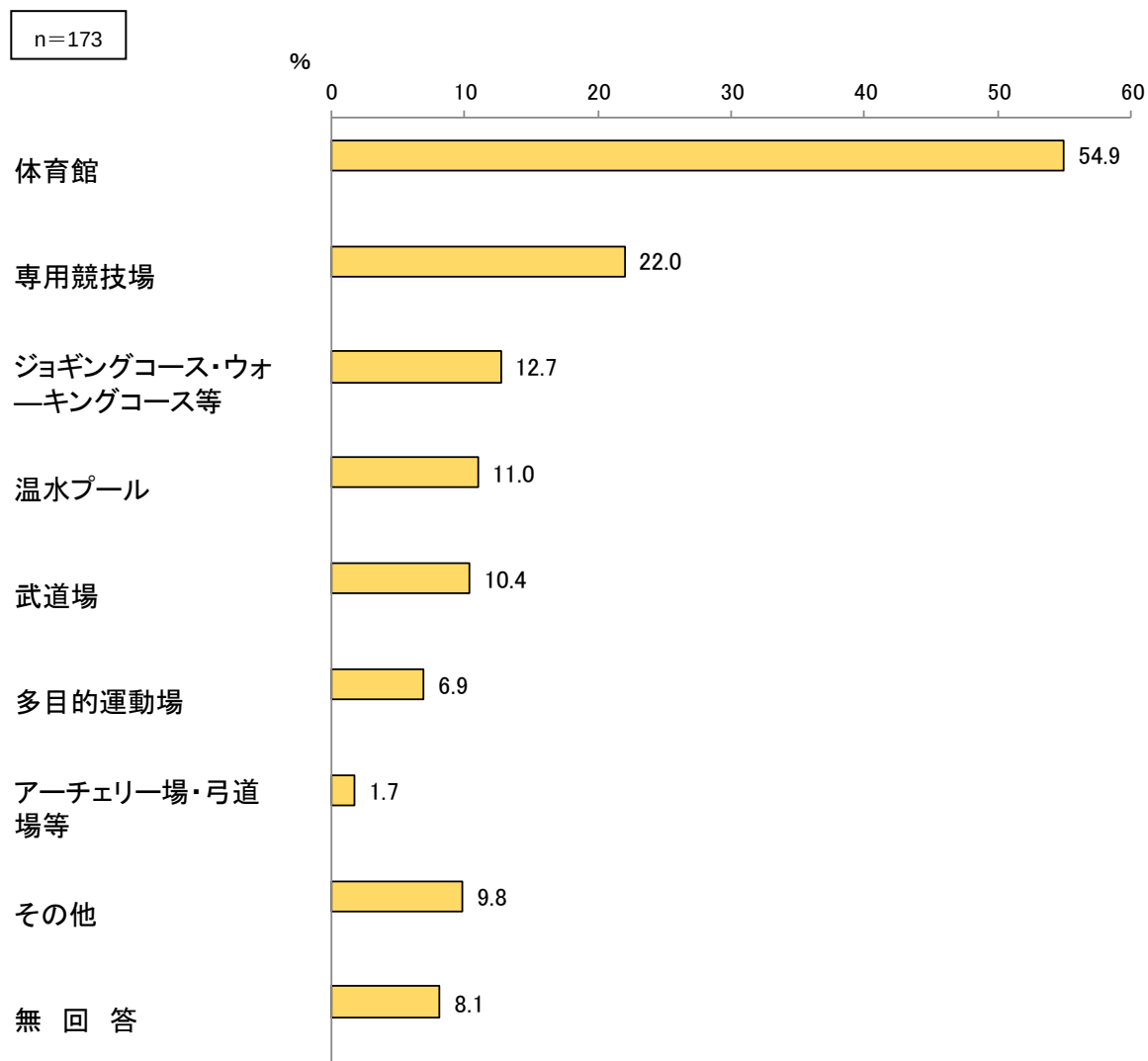
団体・教室活動としてよく利用する市のスポーツ施設については、「かみす防災アリーナ」が18.5%と最も多く、次いで「神栖市民体育館」が16.2%、「波崎体育館(弓道場含む)」が15.0%、「土合体育館」が12.7%、「神栖市武道館大・小道場」が10.4%と続いています。

なお、「市のスポーツ施設は利用していない」は23.7%となっています。



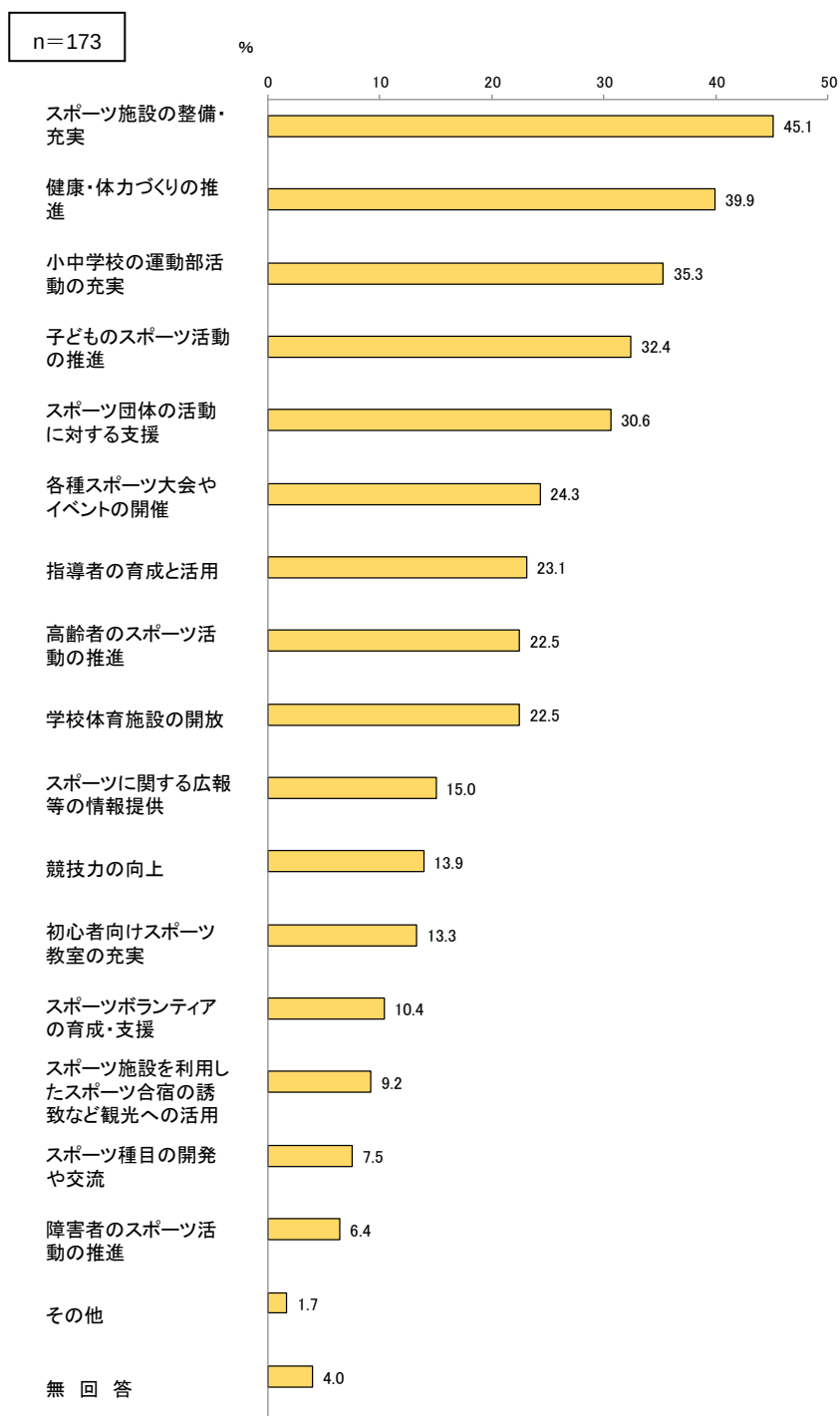
(5) 今後整備・充実が必要な市スポーツ施設

今後整備・充実が必要な市スポーツ施設については、「体育館」が54.9%と最も多く、次いで「専用競技場」が22.0%、「ジョギングコース・ウォーキングコース等」が12.7%、「温水プール」が11.0%、「武道場」が10.4%と続いています。



(6) 今後市として取り組むべきこと

今後市として取り組むべきことについては、「スポーツ施設の整備・充実」が45.1%と最も多く、次いで「健康・体力づくりの推進」が39.9%、「小中学校の運動部活動の充実」が35.3%、「子どものスポーツ活動の推進」が32.4%、「スポーツ団体の活動に対する支援」が30.6%と続いています。



3 調査結果からみえる課題

(1) 市民意識調査

課題 1 施設設備の整備

課題 2 利用料金・利用時間の見直し

市のスポーツ施設の満足度で、「やや不満」、「不満」と回答した人の理由についてみると、多かった項目は、「施設の設備」(26.4%)、「利用料金」(20.8%)、「利用時間帯」(11.1%)となっています。また、市のスポーツ施設に望むことでも、「施設設備の充実」(32.4%)、「利用時間の拡大(夜間等)」(28.8%)、「施設の利用手続き、使用料の支払方法の簡略化」(28.3%)が上位となっています。さらに、今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策については、「スポーツ施設の整備・充実」が27.5%となっています。

自由記述においても、「利用時間を延長してほしい」、「手続きが複雑」、「整備されたコースでジョギングやランニング、サイクリングを思い切り楽しみたい」などの意見もあることから、施設の整備、大会等での適正な利用時間を再度、検討していく必要があります。

課題 3 スポーツイベントの開催

課題 4 プロスポーツ試合、県・全国大会の誘致

今後参加してみたいスポーツイベントについては、「プロスポーツ選手との交流・試合観戦」が35.8%と最も多く、今後の市としての取り組み方については、「プロスポーツの公式試合、各種スポーツ大会や合宿、催し物を開催し、多くの観戦者、参加者に訪れてもらえるような取り組みを進めるべき」が32.4%と最も多くなっています。また、今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策についても、「子どものスポーツ活動の推進」(30.6%)、「高齢者のスポーツ活動の推進」(29.3%)、「各種スポーツ大会やイベントの開催」(18.9%)となっています。

自由記述においても、「国体を開催できる施設があるので、今後も大きな大会を誘致してほしい」、「県・関東・全国大会の開催」、「プロスポーツ選手の試合を観戦したい」、「子どもが参加できるスポーツイベントの開催」などの意見も多くなっています。

今後は、スポーツツーリズムの考え方を視野に、市内外の参加者(スポーツを「する」)や観戦者(スポーツを「みる」)を増加させることで、地域の活性化にもつながることから市内のスポーツイベントやプロスポーツ試合、県・全国レベルの大会の開催を検討していく必要があります。

課題5 スポーツに関する情報提供の充実

市のスポーツ施設に望むことでは、「施設等の情報提供等」が29.6%と2番目に多くなっています。また、今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策についても、「スポーツに関する広報等の情報提供」が19.4%となっています。

自由記述においても、「各種スポーツ行事に参加できるよう情報を提供してほしい」、「イベントは幅広くPRしてほしい」、「有意義な情報提供をしてもらいたい」、「SNS等でもっと情報を知りたい」、「どのようなことをしているのか知りたい、年間行事がわかるとよい」などの意見も多いことから、スポーツに関するさまざまな情報が市民に届くよう提供方法を検討していく必要があります。

課題6 スポーツ施設の整備・改修

自由記述において、「新たな温水プールを作してほしい」、「古い施設は新しくするか、拠点となる大きな施設を作してほしい」との声が多く挙がっています。

市のスポーツ施設に望むことでは、「施設の増設・配置計画の見直し等」が16.0%となっていることから、市内におけるスポーツ施設のバランスを考慮し、市民だれもが身近でスポーツを楽しむことができるよう再配置を検討していきます。

(2) 団体等意識調査

課題1 会員数獲得のための方策

各団体の会員数をみると、「10人以下」が22.0%、「11～30人」が54.9%と、会員30人以下の小規模団体が全体の76.9%と4団体中3団体となっています。また、運営上の課題については、「会員の確保」が69.4%と約7割の団体が課題として挙げています。

自由記述においても、「各スポーツ少年団の入団の推進」、「広報でのメンバー募集」、「若年層のメンバー」を求める声なども出ていることから、各団体との連携を密にしながら会員獲得のための方策を検討していく必要があります。

課題2 各地区の体育館、小・中学校の体育館の整備

各団体の主な活動場所では、「小・中学校の校庭・体育館」が59.5%と最も多く、「市スポーツ施設」(43.4%)よりも多くなっています。また、各団体が活動の拠点として利用している市のスポーツ施設では、「かみす防災アリーナ」に次いで、「神栖市民体育館」(16.2%)、「波崎体育館(弓道場含む)」(15.0%)、「土合体育館」(12.7%)と各地区の体育館を挙げている回答が多くなっています。

今後整備・充実が必要な市スポーツ施設では、「体育館」が54.9%と5割を超え、最も多く、また今後市として取り組むべきことでは、「スポーツ団体の活動に対する支援」が30.6%と5番目に多くなっています。

自由記述において、特に小・中学校の体育館については、「夏季における異常な暑さ」、「床の老朽化」などの安全面の確保などの声も挙がっていることから、団体活動の拠点の中心となっている各地区の体育館や小・中学校の体育館の整備が必要です。

第3章 本市におけるスポーツ環境について

1 スポーツ施設の整備状況

本市では、体育館、温水プール等の屋内施設や、サッカー場や野球場、庭球場等の屋外施設など、市民が身近でスポーツができる環境を整備してきました。

令和元年6月には、「かみす防災アリーナ」が開館し、日常的な各種スポーツ活動をはじめ、温水プールやトレーニング室、さらには大規模大会やイベント開催等、市内外問わず多くの人々に利用されています。

一方で、市内スポーツ関連施設の半数以上は、建設後30年以上が経過しており、整備充実に向けて課題が残ります。特に、屋内施設の老朽化が著しいため、平成30年度には波崎体育館及び神栖市武道館の劣化度調査を実施するなど、改修に向けて順次整備を行っています。さらに、施設の管理運営については、指定管理者制度及びPFI制度¹を導入し、業務の効率化を図っています。

市内に設置されている主要なスポーツ関連施設とスポーツ施設の配置状況は次頁のとおりです。

※1 民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法

〈神栖市スポーツ関連施設一覧〉

区 分	整備施設			武道場	弓場	アリーナ・多目的ホール	多目的広場	トレーニング室	屋内プール	陸上競技場	野球場	少年野球場	ソフトボール場・	サッカー場	フットサル場	ラグビー場	テニスコート	バタールゴルフ場	レンタサイクル	ゲートボール場
	名 称																			
				建設年																
文化スポーツ課所管施設		1	かみす防災アリーナ	H.31			2		1	1										
	神之池緑地運動施設	2	神栖市武道館	S.62	1	1			1											1
		3	神栖市民体育館	S.48			1													
		4	神之池野球場	S.48								1								
		5	神之池陸上競技場	S.48							1									
		6	神之池庭球場	S.48													1(6面)			
		7	神之池バタールゴルフ場	H.2															1	
		8	石塚運動広場	S.55								1(2面)	1(4面)	1(2面)						
	神栖市海浜運動公園	9	海浜球場	S.60								1								
		10	海浜多目的広場	S.60									1(4面)	1(2面)		1				1
		11	海浜サッカー場	H.8										1(2面)						
		12	海浜温水プール	H.7						1										
		13	海浜庭球場	H.11													1(24面)			
		14	海浜ソフトボール場	S.63									1							
	高浜運動広場	15	高浜野球場	H.8									1							
		16	高浜サッカー場	H.9											1					
	神栖市波崎体育館	17	波崎体育館	S.58	1	1	1		1					1						
		18	豊ヶ浜野球場	S.51									1							
		19	豊ヶ浜フットサル場	H.26													1			
	土合運動公園	20	土合体育館	S.49	1		1		1											
		21	土合野球場	S.49									1							
	若松緑地	22	若松陸上競技場	H.11							1				1					
		23	若松庭球場	H.21														1(2面)		
		24	若松野球場	S.52									1							
		25	若松少年野球場	S.55										1						
		26	若松多目的広場	S.52											1					
	宝山公園	27	宝山野球場	S.56								1								
	神栖総合公園	28	神栖総合公園サッカー場	H.21										1(2面)						
		29	神栖総合公園フットサル場	H.23												1(3面)				
	観光振興課所管	30	矢田部サッカー場	H.18										1(4面)						
	市民協働課所管	31	平泉コミュニティセンター	H.13			1		1											
		32	大野原コミュニティセンター	S.63			1	1												
		33	うずもコミュニティセンター	H.2			1													
		34	波崎東ふれあいセンター	S.47				1												
合 計				3	2	8	2	5	2	2	7(8面)	5(11面)	8(15面)	2(4面)		1	3(32面)	1	1	1

〈市内のスポーツ施設配置図〉



2 スポーツ指導者の育成

青少年の健全育成やスポーツの普及には、スポーツ指導者が必要です。スポーツ推進委員や体育協会、各種団体等と連携し、指導者の育成を図ります。

〈スポーツ推進委員数〉（平成31年度（令和元年度））

委員数（人）	男性（人）	女性（人）
27	20	7

〈体育協会加盟団体〉

体育協会加盟団体名		
剣道連盟	陸上競技連盟	水泳協会
硬式野球連盟	柔道連盟	ソフトバレーボール連盟
バドミントン協会	パワーリフティング協会	サッカー協会
スキー連盟	グラウンド・ゴルフ協会	少林寺拳法協会
軟式野球連盟	ラグビーフットボール協会	ソフトボール連盟
クレ射撃協会	アマチュアゴルフ連盟	空手道連盟
バレーボール連盟	レクリエーション協会	卓球協会
ソフトテニス連盟	バスケットボール連盟	スポーツ少年団本部
硬式庭球連盟	弓道連盟	

3 スポーツ推進等に向けての支援状況

市民やスポーツ団体等のスポーツ推進を図るため、各種スポーツ振興を支援する補助やスポーツ指導者の養成事業を行っています。また、関東及び全国大会、さらには世界大会に出場する選手などに助成等を実施しています。現在の実施状況は以下のとおりです。

〈支援事業等〉

事業名	概 要
神栖市体育協会等事業補助	市民及びスポーツ団体等の活動支援を図り、スポーツの振興に寄与する。
神栖市スポーツ指導者の育成	国・県が実施する講習会・研修会等への参加を奨励し、指導者の育成に努める。
神栖市スポーツ大会出場報奨金交付	市民のスポーツの推進及び競技力の向上を図るため、全国規模等のアマチュアスポーツ大会に出場する個人又は団体に対して交付する。
神栖市中学校教育振興補助金交付	中学生の部活動の充実を図るため、全国規模等の大会に伴う交通費等の個人負担を補助する。

4 スポーツ大会等の開催状況

多くのスポーツ大会が行われ、大勢の方が参加しています。令和元年6月には「かみす防災アリーナ」が開館したことにより、従来以上の大規模な各種大会が開催できるようになりました。令和元年度は、国内男子プロバスケットリーグ（Bリーグ）、日本フットサルリーグ（Fリーグ）、日本卓球リーグ（Tリーグ）の開催地として大会誘致を実現しています。さらには、バスケットボール女子リーグ（Wリーグ）や春巡業大相撲神栖場所等の開催も予定しており、各種競技のハイレベルなパフォーマンスを間近で観戦できる機会が増えています。

「かみす防災アリーナ」

指定管理者：神栖防災アリーナ PFI 株式会社

〈主なスポーツ大会等の開催状況〉（令和元年度）

No.	日付	主な会場	利用内容
1	6月1・2日	メインアリーナ他	かみす防災アリーナ開館記念イベント
2	6月5・6日	メインアリーナ	県民総体兼国体予選兼全国高校総体卓球県東地区予選会
3	6月9日	メインアリーナ	第13回神栖市交流ソフトバレーボール大会
4	6月15日	メインアリーナ	JFAバーモントカップ第29回全日本U-12フットサル選手権大会茨城県大会
5	6月23日	メインアリーナ	神栖市社交ダンス連盟ダンスパーティー
6	6月26～27日	メインアリーナ	県東地区総合体育大会（バスケットボール）
7	7月7日	メインアリーナ	第44回茨城県東空手道選手権大会（第57回茨城県空手道選手権大会予選）
8	7月14日	メインアリーナ	第26回神栖市レディース&メンズソフトバレーボール大会
9	8月3日	メインアリーナ	神栖市ミニバスケットボール交流会
10	8月5日	メインアリーナ	県東地区高等学校卓球競技大会
11	8月10日	メインアリーナ	第2回茨城県U15クラブバスケットボール選手権大会兼ジュニアバスケットボール選手権大会予選会
12	8月19・20日	メインアリーナ	全日本卓球選手権カデットの部県東地区予選会
13	8月20・21日	メインアリーナ	全日本卓球選手権大会ジュニアの部県東地区予選会
14	8月24・25日	メインアリーナ	神栖市ミニバスケットボール秋期リーグ戦
15	9月1日	メインアリーナ	令和元年度神栖市第14回かみす杯バドミントン大会
16	9月7日	メインアリーナ	BLEAGUE2019-20プレシーズンゲームin神栖 茨城VS横浜
17	9月14・15日	メインアリーナ	第74回国民体育大会グラウンド・ゴルフ競技会開会式
18	10月4～6日	メインアリーナ	Fリーグ2019/2020ディビジョン1第20・21節かみすセントラル
19	10月7・9日	メインアリーナ	県東地区中学生新人体育大会卓球競技大会
20	10月10～12日	メインアリーナ	県東地区中学生新人体育大会バスケットボール競技大会
21	11月2日	メインアリーナ	第48回神栖市菊祭り剣道大会
22	11月3・4日	メインアリーナ	第12回県東地区ミニバスケットボール選手権大会兼第47回茨城ミニバスケットボール選手権大会予選大会
23	11月9日	メインアリーナ	第1回JAなめがたしおさい全職員ソフトバレーボール大会
24	11月10日	メインアリーナ	神栖市芸術祭ダンスパーティー
25	11月10日	サブアリーナ	第2回神栖市近隣アームレスリング大会
26	11月16・17日	メインアリーナ他	神栖市スポーツレクリエーション祭り
27	11月23日	メインアリーナ	第21回茨城県フットサルリーグ2019大会
28	11月24日	メインアリーナ	SuperSportsXEBIO第21回関東フットサルリーグ2019
29	11月30日	メインアリーナ	第50回拳友会オーブントーナメント選手権大会
30	12月7日	メインアリーナ	鹿島アントラーズ杯第21回ミニバスケットボール大会
31	12月14・15日	メインアリーナ	BLEAGUE公式戦 茨城ロボッツVSアースフレンズ東京Z
32	12月21・22日	メインアリーナ	神栖杯ミニバスケットボール大会
33	1月4～6日	メインアリーナ	冬季ハンドボール強化練習会2020in神栖
34	1月11日	メインアリーナ	茨城県中学校剣道合同練成会
35	1月12日	メインアリーナ	ANTLERS CUP 第2回鹿嶋市ジュニアバドミントン大会
36	1月18日	メインアリーナ	第36回鹿嶋市バドミントン大会団体戦
37	2月11日	メインアリーナ	TLEAGUE 2019-2020シーズン
38	2月15・16日	メインアリーナ	第34回カンガルー杯バスケットボール大会
39	2月20～23日	メインアリーナ	フットサル地域チャンピオンリーグ女子全国大会
40	2月28・29日	メインアリーナ	第45回神栖市長杯卓球大会
41	3月1日	メインアリーナ	神栖市第14回冬季バドミントン大会
42	3月6・7日	メインアリーナ	インクルーシブフットボールフェスタ（障がい者サッカー）
43	3月22日	メインアリーナ	神栖市空手連盟
44	3月29日	メインアリーナ他	かみす防災アリーナ祭り

＜スポーツ教室(子ども向け)開催状況＞(令和元年度)

No.	教室名	教室数	対象者	回数	定員数	在籍数	会場	
1	ベビーチャダンス	1	1歳6ヵ月～3歳	35	60	41	かみす防災アリーナ	サブアリーナ
2	キッズ体操	1	4歳～未就学児	35	60	61	かみす防災アリーナ	サブアリーナ
3	ジュニア体操	2	小学生	70	120	114	かみす防災アリーナ	サブアリーナ
4	キッズ運動克服	1	4歳～未就学児	31	45	43	かみす防災アリーナ	スタジオ
5	ジュニア運動克服	2	小学生	65	90	73	かみす防災アリーナ	スタジオ
6	キッズダンス	2	4歳～未就学児	59	75	75	かみす防災アリーナ	スタジオ
7	ジュニアダンス	2	小学生	59	100	92	かみす防災アリーナ	スタジオ
8	親子体操	1	1歳6ヵ月～未就学児とその保護者	37	45	16	かみす防災アリーナ	スタジオ
9	キッズ鉄棒&跳び箱集中	1	4歳～未就学児	34	45	44	かみす防災アリーナ	スタジオ
10	ジュニア鉄棒&跳び箱集中	1	小学生	34	45	45	かみす防災アリーナ	スタジオ
11	水慣れ	4	おむつの取れている3歳～未就学児	117	150	114	かみす防災アリーナ	プール
12	キッズ水泳	6	4歳～未就学児	208	360	360	かみす防災アリーナ	プール
13	ジュニア水泳	10	小学生・中学生	348	900	700	かみす防災アリーナ	プール
14	親子水泳	1	おむつの取れている3歳～未就学児	34	60	32	かみす防災アリーナ	プール
合 計		35		1,166	2,155	1,810		

＜スポーツ教室(大人向け)開催状況＞(令和元年度)

No.	教室名	教室数	対象者	回数	定員数	在籍数	会場	
1	バドミントン	2	一般男女	60	120	31	かみす防災アリーナ	サブアリーナ
2	卓球	2	一般男女	70	120	65	かみす防災アリーナ	サブアリーナ
3	太極拳	1	一般男女	31	60	32	かみす防災アリーナ	スタジオ
4	ヨガ	8	一般男女	284	480	210	かみす防災アリーナ	スタジオ
5	ハワイアンダンス	1	一般男女	31	60	25	かみす防災アリーナ	スタジオ
6	シニア体操	1	一般男女	31	60	15	かみす防災アリーナ	スタジオ
7	figure8	1	一般男女	31	60	45	かみす防災アリーナ	スタジオ
8	マットサイエンス	1	一般男女	31	60	56	かみす防災アリーナ	スタジオ
9	かんたんエアロ	1	一般男女	36	60	20	かみす防災アリーナ	スタジオ
10	ZUMBA	3	一般男女	106	180	127	かみす防災アリーナ	スタジオ
11	バレトン	2	一般男女	72	120	81	かみす防災アリーナ	スタジオ
12	タヒチアンダンス	1	一般男女	37	60	29	かみす防災アリーナ	スタジオ
13	コアシェイプ	1	一般男女	37	60	50	かみす防災アリーナ	スタジオ
14	ピラティス	2	一般男女	70	120	80	かみす防災アリーナ	スタジオ
15	体幹トレーニング	1	一般男女	36	60	63	かみす防災アリーナ	スタジオ
16	成人水泳	10	一般男女	317	560	186	かみす防災アリーナ	プール
17	水中運動	4	一般男女	140	240	71	かみす防災アリーナ	プール
18	アクアビクス	2	一般男女	67	120	46	かみす防災アリーナ	プール
合 計		44		1487	2600	1232		

「市内運動施設等(かみす防災アリーナを除く)」
 指定管理者：公益財団法人 神栖市文化・スポーツ振興公社
 神栖市観光協会(矢田部サッカー場)

◆主なスポーツ大会等の開催状況

No.	日付	主な会場	利用内容
1	4月13・14日	矢田部サッカー場	銚子サッカーフェスティバル
2	5月12日	石塚運動広場	第44回神栖市男子ソフトボール大会
3	5月12日	神栖市武道館 弓道場	第40回神栖市弓道大会
4	5月19日	神栖市武道館 大道場	第13回春季バドミントン大会
5	5月26日	矢田部サッカー場	U-14、U-15県東地区トレセン
6	6月1・2日	海浜球場	第33回神栖杯 県東地区高校野球夏季大会
7	6月15・16日	矢田部サッカー場	Football festa 2019 HASAKI
8	6月23日	神栖市武道館 大道場	第33回神栖杯少年柔道大会
9	7月3日	神之池パターゴルフ場	神栖市パターゴルフ大会(夏)
10	7月27・28日	矢田部サッカー場	ナイキアントラズカップ
11	7月30・31日	矢田部サッカー場	波崎チャレンジカップ2019
12	8月3日	海浜庭球場16面	第44回神栖杯中学生ソフトテニス大会
13	8月17・24日	海浜サッカー場・海浜多目的広場	第11回神栖ジュニアユース(U-13)サッカー大会
14	8月10・12・17日	海浜球場・神之池球場他	第41回神栖杯中学生軟式野球新人大会
15	8月22・23日	矢田部サッカー場	TRAUM CHALLENGE FESTA 2019 in SUMMER
16	8月23～25日	矢田部サッカー場	関東トレセン女子U-15
17	9月3～5日	矢田部サッカー場	Summer Football festa 2019-HASAKI-
18	9月7日	神之池緑地周辺	第18回神栖市長杯グラウンド・ゴルフ大会
19	9月23日	市民体育館	KAMISU 3×3 BASKETBALL CHAMPIONS CUP 2019
20	10月13日～27日	海浜球場他	第32回神栖市総合野球大会
21	10月27日	矢田部サッカー場	関東トレセンリーグU-15
22	10月30日	神之池パターゴルフ場	神栖市パターゴルフ大会(冬)
23	11月2・3日	海浜サッカー場他	第39回神栖市長杯争奪中学生サッカー大会
24	11月3日	海浜庭球場18面	市民テニス大会
25	11月9日	神之池緑地内	第8回いきいきウォーキング大会
26	11月9・10・16・23日	矢田部サッカー場	新関東リーグ
27	12月1日	神之池緑地内	第33回神栖市小学校駅伝大会
28	12月14日	神之池緑地周辺	第34回ウォークラリー大会
29	12月25～29日	矢田部サッカー場	波崎ユースカップ
30	1月4日	矢田部サッカー場	波崎ウィンターカップ2020
31	1月4日	矢田部サッカー場	Jr. Youth FESTA WINTER 2020 in 波崎
32	1月11・12日	市民体育館	第33回神栖市長杯総合バスケットボール大会
33	1月25日	矢田部サッカー場	U-14クラブ選手権
34	2月1・2日	矢田部サッカー場	第14回神栖矢田部カップ2020
35	2月2日	市民体育館・神栖市武道館	第15回神栖市長杯ソフトバレーボール大会
36	2月6・7日	矢田部サッカー場	Football festa 2020 学生大会
37	2月23日	波崎体育館周辺	第27回神栖市はさきさわやかランニング大会

◆スポーツ教室の開催状況（令和元年度）

No.	事業名	対象者	回数	定員数	在籍数	会場
1	健康運動教室(11月まで)	市内居住又は勤務の一般男女	12期全47回	300	197	市民体育館
2	春季下肢筋力向上トレーニング教室	市内居住又は勤務の一般男女	全13回	40	40	神栖市武道館
3	秋季下肢筋力向上トレーニング教室	市内居住又は勤務の一般男女	全13回	40	42	神栖市武道館
4	冬季下肢筋力向上トレーニング教室	市内居住又は勤務の一般男女	全10回	40	38	神栖市武道館
5	ヨガ教室(春季)	市内居住又は勤務の一般男女	全10回	40	44	神栖市武道館
6	ヨガ教室(秋季)	市内居住又は勤務の一般男女	全10回	40	41	神栖市武道館
7	ヨガ教室(冬季)	市内居住又は勤務の一般男女	全10回	30	30	神栖市武道館
8	こども健康スポーツ教室(春季)	市内居住の小学1年生から小学3年生	全10回	25	30	神栖市武道館
9	こども健康スポーツ教室(秋季)	市内居住の小学1年生から小学3年生	全10回	25	18	神栖市武道館
10	バスケットボールクリニック	神栖市内中学生	1回	80	98	市民体育館
11	神栖市武道館鏡開き	市内居住又は勤務の児童から一般男女	1回	200	148	神栖市武道館
12	審判及び指導者養成講習会	スポーツ指導員及び一般男女	1回	20	10	神栖消防署
13	審判及び指導者養成講習会	スポーツ指導員及び審判員	1回	80		神栖海浜球場
14	春のアクアビクス教室	市内在勤・在住の高校生以上の一般男女	全20回	50	34	海浜温水プール
15	水中ウォーキング教室（前期）	市内在勤・在住の高校生以上の一般男女	全10回	30	32	海浜温水プール
16	硬式テニス教室	市内在勤・在住の小学3年生～一般男女	全10回	80	76	海浜温水プール
17	ソフトテニス教室	市内在勤・在住の小学3年生～一般男女	全10回	50	40	海浜庭球場
18	ピラティス教室（前期）	市内在勤・在住の高校生以上の一般男女	全10回	20	21	海浜多目的室
19	春のちびっこ水遊び教室	市内の5歳児～6歳児	全8回	20	24	海浜温水プール
20	ヨガ教室（前期）	市内在勤・在住の高校生以上の一般男女	全10回	20	16	海浜多目的室
21	春のいけいけ水遊び教室	市内の小学1年生～2年生	全4回	30	30	海浜温水プール
22	前期 ジュニア水泳教室	市内の小学3年生～6年生	全6回	50	53	海浜温水プール
23	いけいけかけっこ教室	市内の小学1年生～3年生	全4回	30	22	若松陸上競技場
24	中学生硬式野球教室	市内・市外の中学3年生	全19回	20	16	海浜球場
25	ピラティス教室（後期）	市内在勤・在住の高校生以上の一般男女	全10回	20	21	海浜多目的室
26	ヨガ教室（後期）	市内在勤・在住の高校生以上の一般男女	全10回	20	18	海浜多目的室
27	秋のアクアビクス教室	市内在勤・在住の高校生以上の一般男女	全20回	50	37	海浜温水プール
28	水中ウォーキング教室（後期）	市内在勤・在住の高校生以上の一般男女	全10回	30	31	海浜温水プール
29	秋のちびっこ水遊び教室	市内の5歳児～6歳児	全8回	20	22	海浜温水プール
30	秋のいけいけ水遊び教室	市内の小学1年生～2年生	全4回	30	25	海浜温水プール
31	後期 ジュニア水泳教室	市内の小学3年生～6年生	全6回	50	50	海浜温水プール
32	ワンポイントアドバイス	温水プール遊泳者	通年			海浜温水プール
33	春季体幹シェイプアップヨガ教室	市内居住又は勤務の一般男女	全10回	20	17	波崎体育館
34	秋季体幹シェイプアップヨガ教室	市内居住又は勤務の一般男女	全10回	20	18	波崎体育館
35	土合体育館スポーツクラブ	市内居住又は勤務の一般男女	全40回	30	31	土合体育館
36	波崎土合スポーツ体験祭り	小学生以上	2回	100	124	土合体育館
37	さわやかランニング教室	小学生以上	1回			豊ヶ浜運動公園
38	春季ジュニアヒップホップダンス教室	市内小学1～3年生	全10回	20	17	土合体育館
39	秋季ジュニアヒップホップダンス教室	市内小学1～3年生	全10回	20	21	土合体育館
40	神栖市クレ射撃体験教室	市内居住又は勤務・在学の小学4年生から一般男女	2回	100	52	土合体育館
合 計				1,890	1,584	

第4章 前スポーツ振興基本計画の施策評価

1 前スポーツ振興基本計画各施策別実施状況

前スポーツ振興基本計画では、5つの「基本目標」に対して、各基本目標を達成するために14の「施策目標」と31の「具合的な取組」を設定しました。

ここでは、これまで各担当課において取り組んできた「具合的な取組」の実施状況についてまとめています。

(1) 基本目標1 生涯健康スポーツ活動の推進

施策目標1-1 児童・生徒のスポーツ活動の推進

具体的な取組	施策の実施状況
①スポーツ教室・講習会の開催	○教室、講習会等(H31/R元) 「かみす防災アリーナ（指定管理者：神栖防災アリーナ PFI 株式会社）」「スポーツ大会等の開催状況」「スポーツ教室(子ども向け)開催状況」参照
②スポーツ大会等の開催	○大会(H31/R元) 「市内運動施設等(かみす防災アリーナを除く)（指定管理者：公益財団法人 神栖市文化・スポーツ振興公社）」「スポーツ大会等(子ども及び大人向け)の開催状況」「スポーツ教室(子ども及び大人向け)開催状況」参照 ○第33回神栖小学校駅伝大会 ○第27回神栖市はさきさわやかランニング大会 児童・生徒参加者：●人 ○アリーナ開館イベント ・北島康介トークショー&キタジマアクアティクス平泳ぎレッスン ・ストラックライン&トランポリン体験 ・体力測定会 他 ○神栖市スポーツレクリエーション祭 2019 ・トランポリン体験 ・アクアジム ・DINO レース&クラフト ・SOMPO BALL GAME FESTA 他
③中学校部活動等への支援	H30実績 各種大会交通費等補助 市内8中学校分 ○中学校の運動部活動における外部指導者の活用 ・年間27回まで、1回につき指導時間は2時間以上 ※県の事業を受けてのものであり、現状では希望校はなく、活用していない。実際には外部指導者を活用している中学校は多数あるが、ほとんどがボランティアである。

施策目標 1-2 成人のスポーツ活動の推進

具体的な取組	施策の実施状況
①スポーツ大会や競技会の開催	○大会(H31/R 元) 「かみす防災アリーナ（指定管理者：神栖防災アリーナ PFI 株式会社）」「スポーツ大会等の開催状況」「スポーツ教室(大人向け)開催状況」参照 ○第 27 回神栖市はさきさわやかランニング大会 一般参加者：●人
②スポーツ健康教室等の開催	○教室、講習会等(H31/R 元) 「市内運動施設等(かみす防災アリーナを除く)（指定管理者：公益財団法人 神栖市文化・スポーツ振興公社）」「スポーツ大会等(子ども及び大人向け)の開催状況」「スポーツ教室(子ども及び大人向け)開催状況」参照
③運動習慣導入支援の推進	○集団健康教育事業 ウォーキング 1 回、ヨガ 2 回、脂肪燃焼エクササイズ 1 回、ボールエクササイズ 1 回を健診前後に健康運動教室として行った。 平日（日中）に開催する教室では、小さな子どもを持つ保護者も参加できるように、託児の機会を設定した。また、夕方からの教室も開催した。 令和元年度実績 参加人数 116 人
④ニュースポーツ等の普及	○神栖市スポーツレクリエーション祭 2018(H30 実績) シルバーリハビリ体操・笑いヨガ・カヌー教室・軽スポーツ体験など全 40 事業、参加者：約 5,000 人

施策目標 1-3 障がいのある人のスポーツ活動の推進

具体的な取組	施策の実施状況
①スポーツイベントへの支援	○茨城県ゆうあいスポーツ大会(H30 実績) 開催日 5/27（土）参加者：10 名 応援者等：7 名 ○茨城県身体障害者スポーツ大会(H30 実績) 開催日 9/23（日）参加者：4 名 応援者等：3 名 ○鹿行地区身体障害者スポーツ大会(H30 実績) 開催日 7/14（土）参加者：21 名 応援者等：3 名 ○神栖市障がい者グラウンド・ゴルフ大会 （いきいき茨城ゆめ大会リハーサル大会）(H30 実績) 開催日 11 月 17 日（土）参加者：94 名 ※第 19 回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会 2019」は、台風 19 号の接近に伴い全日程中止

施策目標 1－4 高齢者のスポーツ活動の推進

具体的な取組	施策の実施状況
①教室・レクリエーション等の開催	○スポーツ講座の開催 【高齢者生きがい講座】(H30 実績) 講座名：ヨガ、ダンス、フラダンス、太極拳、ダーツ、社交ダンス 会場：保健福祉会館、はさき福祉センター 実施回数：各講座 20 回 参加人数：585 人 ○かみず健康まつり(R元実績) 参加人数：シニアクラブ 699 人 ○【高齢者生きがい対策事業費補助金】 在宅高齢者の生きがいを高め、福祉の増進を図るため、神栖市シニアクラブ連合会の行う生きがい対策事業に対し、補助金を交付する。 ①芸能発表及び作品展 基準額 80 万円（満たなかった場合その額が基準額） ②囲碁将棋大会 600 円×参加者数 ③シニアクラブ対抗輪投げ大会、歩け歩け大会、シニアクラブ対抗グラウンド・ゴルフ大会 基準額 10 万円（満たなかった場合その額が基準額）

施策目標 1－5 スポーツ少年団の育成

具体的な取組	施策の実施状況
①スポーツ少年団指導者の育成・確保の支援	○スポーツ少年団認定員講習会への参加支援(H30 実績) 認定者数：13 人 登録認定者数：125 人
②スポーツ少年団活動への支援	○スポーツ団体事業費補助金の交付(H30 実績) ○学校体育施設の開放

(2) 基本目標2 スポーツ施設の整備・充実

施策目標2-1 スポーツ施設の整備・充実

具体的な取組	施策の実施状況
①スポーツ中核施設の整備・充実	○神栖中央公園防災アリーナ（仮称）整備運営事業 （契約期間 H27 年度～R15 年度） アリーナ建設工事完了
②既存スポーツ施設の整備・充実	○既存施設の計画的な改修(H31 実績) ①東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプ地誘致に向けた改修工事 ・神栖海浜サッカー場改修工事 ②茨城国体に向けた既存施設の改修工事 ・神栖海浜運動公園駐車場整備工事 ・神栖海浜運動公園防犯カメラ設置工事 ・海浜庭球場改修工事 ③老朽化改善に向けた改修計画の策定 ・波崎体育館劣化度調査 ・神栖市武道館劣化度調査 ・神栖市武道館改修工事の設計業務
③スポーツ施設の効果的な運用	○指定管理者制度の運用(H30 実績) 運動施設利用状況（全 28 施設） 利用人数：418,996 人（レンタサイクル含む） （前年比：26,433 人の減） ○神栖市矢田部サッカー場 平成 30 年度利用者数 79,927 人 利用時間数 4,015 時間（平日 443 時間、休日 3,300 時間、スクール 272 時間） 平成 29 年度に C コート、平成 30 年度に D コート、令和元年度に A コートの人工芝の張替工事を実施。 指定管理者により管理運営され、スポーツ合宿やサッカー大会、サッカースクール等に活用されている。

施策目標2-2 スポーツ活動の場の提供

具体的な取組	施策の実施状況
①学校施設の利用の推進	○学校開放事業(H30 実績) 利用団体数：134 団体 延べ開放日数：4,644 日 延べ利用者数：49,177 人
②身近な施設での場の確保	○市内 4 館のコミュニティセンター（大野原、うずも、平泉、波崎東ふれあいセンター）で、施設の貸し出しを行っている。 スポーツ関連施設利用件数：5,184 件 スポーツ関連施設延べ利用者数：66,290 人

(3) 基本目標3 スポーツ推進体制の整備

施策目標3-1 総合型地域スポーツクラブの育成

具体的な取組	施策の実施状況
①「かみすスポーツクラブ」の運営支援	○かみすスポーツクラブの運営に係る財政的支援
②市民への啓発活動の促進	○かみすスポーツクラブでは、毎月会報を発行し、クラブの活動内容やスケジュールを周知し、神栖市のホームページに掲載しています。 ○グラウンド・ゴルフ、卓球、スポーツ吹矢、ノルディックウォーキングなど様々なスポーツ活動を行った。

施策目標3-2 スポーツ指導者の育成・確保

具体的な取組	施策の実施状況
①スポーツ指導者の発掘・育成 ②スポーツ指導者研修の充実	○スポーツ推進委員活動の充実(H30実績) 関東スポーツ推進委員研究大会 参加者：10人 全国スポーツ推進委員研究協議会 参加者：8人 ○スポーツ少年団認定員講習会への参加支援(H30実績) 認定者数：13人 登録認定者数：125人
③スポーツボランティアの確保と活動の促進	○市民活動支援センターにおいて、国体ボランティア募集チラシの設置のほか、市が主催するイベント等のボランティア募集情報の発信や、団体の活動情報を「市民活動情報掲示板」へ定期的に掲示し、市民に対する情報提供を行った。 市では、ホームページ内の市民活動情報発信サイト「ねっとかみす」の更新や、市のさまざまな事業等におけるボランティア情報のとりまとめを行った。
④スポーツの専門知識を持った人材活用	○かみす市民フォーラムでは、生涯学習人材バンクの活用及び講師紹介のポスターを掲示した。また、人材バンク登録講師へ、令和元年度生涯学習情報誌「まなびアイかみす」掲載についての意向調査を行った。

施策目標 3-3 スポーツ関係団体との連携強化

具体的な取組	施策の実施状況
①スポーツ団体への支援	○スポーツ団体への補助金交付 (R 元交付団体) 体育協会、スポーツ少年団、かみすスポーツクラブ ○鹿島アントラーズ、茨城ロボッツ及び茨城アストロプラネッツとの連携
②スポーツ団体との連携活動の促進	○東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の参加国への事前キャンプ地誘致活動

施策目標 3-4 スポーツに関する情報体制の充実

具体的な取組	施策の実施状況
①スポーツ情報の効果的な提供	○生涯学習情報誌「まなびアイかみす」や広報かみすにおいてスポーツ情報を市民に提供している。 ○広報紙やホームページ等を活用し、情報提供を行った。

(4) 基本目標 4 茨城国体の開催と競技力向上対策の推進

施策目標 4-1 茨城国体の開催

具体的な取組	施策の実施状況
①国体競技会場の確保と整備	○各施設の調査を実施し、茨城国体へ向けた具体的な整備計画を作成し、平成 29、30 年度 2 カ年かけて、海浜庭球場コート全面改修等を行った。
②万全な開催準備の実施	○平成 28 年 12 月 22 日にいきいき茨城ゆめ国体神栖市実行委員会の設立総会・第 1 回総会を開催し、平成 29 年 3 月 16 日に第 1 回常任委員会を開催した。 その後、円滑な大会運営体制の充実を図るため、庁内の運営組織「いきいき茨城ゆめ国体神栖市実施本部」を平成 30 年 1 月 31 日に設置した。
③神栖市らしさを盛り込んだ国体の開催	○いきいき茨城ゆめ国体神栖市実行委員会神栖市開催基本方針に基づき、いきいき茨城ゆめ国体神栖市開催推進総合計画を策定した。 国体では、各種競技力向上が実り、天皇杯、皇后杯を獲得することができた。

施策目標 4-2 競技力向上のための支援体制の充実

具体的な取組	施策の実施状況
①競技力向上の支援	○スポーツ大会出場報奨金(H30 実績) 交付件数：109 件、交付対象者：118 人

(5) 基本目標5 スポーツによるまちの活力づくりの推進

施策目標5-1 地域経済を潤すスポーツイベント事業等の促進

具体的な取組	施策の実施状況
①スポーツイベント事業等の支援	○文化スポーツニュース(年5回発行)にて広報を行った スポーツボランティア登録者数：14人(R元.9月現在)
	○「アリーナ開館イベント」、「スポーツレクリエーション祭2019」 スポーツイベント等のチラシ作成等の広報活動
	○B(男子バスケットボール)、F(フットサル)、T(卓球)の各リーグ、その他公式戦の開催
	○スポーツレクリエーション祭2019の開催
②スポーツ合宿等の情報発信の強化	○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の参加国への事前 キャンプ地誘致活動
	○スポーツツーリズム推進室の案内パンフレットの作成
	○スポーツツーリズム推進室のHP更新
	○スポーツ施設利活用方策の検討

2 前スポーツ振興基本計画(後期計画)成果指標達成状況

前スポーツ振興基本計画(後期計画)策定時において、前スポーツ振興基本計画策定の際に設定した3つの指標と数値目標の見直しを実施し、再設定したうえで、平成31年度(令和元年度)まで取り組んできました。

その成果指標に対しての実績は以下のとおりです。

1. 成人の週1回以上のスポーツ実施率 目標：50% (平成31年度)

38.5% (平成26年度)⇒実績：38.5% (令和元年度)

検証資料:スポーツに関する市民意識調査(令和元年度)結果

2. 総合型地域スポーツクラブ

「かみすスポーツクラブ」会員数 目標：250人 (平成31年度)

⇒実績：214人 (令和元年度)

検証資料:「かみすスポーツクラブ」会員数調査資料(令和元年度)

3. 神栖市体育協会及びスポーツ少年団の指導者数 目標：517人 (平成31年度)

⇒実績：419人 (令和元年度)

検証資料:神栖市体育協会指導者数調査資料(令和元年度)

※目標値の年度については、目標設定時の「平成31年度」と表記しています。

第5章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

子どもから高齢者まで、市民誰もが、それぞれの体力や年齢、身体、目的に応じて、身近な地域で「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指します。

このため、「市民ひとり・1スポーツのまち」のキャッチフレーズのもと、次のような将来像の実現を目指して、スポーツが盛んな活気のあるまちづくりを推進していきます。

市民ひとり・1スポーツのまち
みんなで築く 生涯スポーツ都市 かみす

2 基本方針

計画の基本理念・将来像を実現するために、基本施策の方向として次の5つの基本方針を定めます。

- 1 子どもから高齢者まで、市民誰もが、「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツを楽しむことができるよう、市民ニーズに即して多様な分野でスポーツ活動プログラムを提供し、広く市民にスポーツ活動の普及を図っていきます。
- 2 市民のスポーツ活動の場の拡充を進めるため、スポーツ施設設備の整備充実や効果的な管理・運用を図るとともに、学校体育施設の一層の活用を図っていきます。
- 3 市民のスポーツ活動の推進を支える体制の充実を図るため、スポーツ指導者や団体の育成・活動支援を図るとともに、競技力向上のための支援体制やスポーツ情報提供体制の充実などに努めます。
- 4 2019年(令和元年度)に開催した茨城国体を契機として、更なる各種競技力の向上を図るとともに、全国及び世界レベルの競技者の発掘・育成を目指します。
- 5 スポーツを通してまちの活力づくりを推進するため、スポーツイベントの開催や、スポーツ合宿等の情報発信の強化に取り組みます。

3 基本目標

「基本理念」の内容を実現するため、次の5つの基本目標を掲げ、施策の方向を明らかにするとともに、その総合的な展開を図ります。

基本目標1 生涯健康スポーツ活動の推進

市民の誰もが生涯にわたって気軽にスポーツ活動ができる機会・プログラムを提供します。

基本目標2 スポーツ施設等の整備・充実

市民の身近な施設から中核拠点施設まで多様にスポーツ活動ができる場を整備充実します。

基本目標3 スポーツ推進体制の整備

市民のスポーツ活動を支える地域活動体制、指導者・関係団体体制、情報体制を整備充実します。

基本目標4 茨城国体を契機とした更なる競技力向上対策の推進

2019 年(令和元年度)に開催した茨城国体を契機として、更なる各種競技力の向上を図るとともに、全国及び世界レベルの競技者の発掘・育成を目指します。

基本目標5 スポーツによるまちの活力づくりの推進

スポーツを通して市民の一体感や世代間交流の促進、観光の振興などまちの活力づくりに寄与していきます。

4 計画の成果指標

本計画の成果指標については、計画の達成状況を測るために、以下の2つの指標と数値目標を設定しました。

この指標に基づき計画の進捗状況を評価しながら、効果的に計画を推進していきます。

1. 成人の週1回以上のスポーツ実施率

目標：50% (令和11年度)

平成26年度：38.5%⇒平成31年度：38.5%

※スポーツに関する市民意識調査結果により設定

2. かみす防災アリーナの教室プログラム参加率

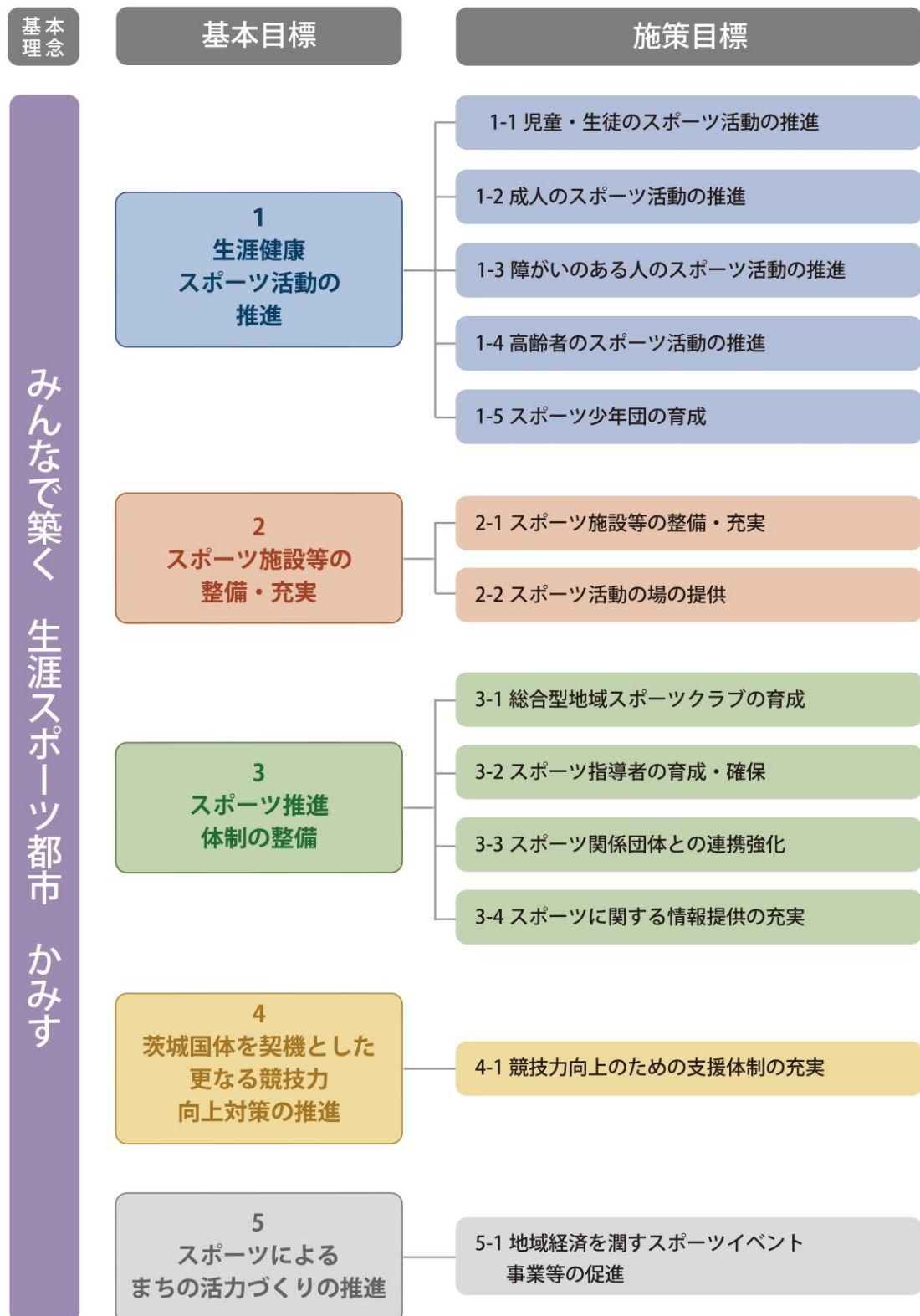
目標：63%以上の維持 (令和15年度までの指定管理期間)

※神栖防災アリーナ PFI 株式会社 運営に係る事業提案により目標設定

5 施策の体系

◆キャッチフレーズ

市民ひとり・1スポーツのまち



基本
目標

施策目標

具体的な取組

1 生涯健康スポーツ活動の推進

1-1 児童・生徒のスポーツ活動の推進

- ①スポーツ教室・講習会の開催
- ②スポーツ大会等の開催
- ③中学校部活動等への支援

1-2 成人のスポーツ活動の推進

- ①スポーツ大会や競技会の開催
- ②スポーツ健康教室等の開催
- ③運動習慣導入支援の推進
- ④ニュースポーツ等の普及

1-3 障がいのある人のスポーツ活動の推進

- ①スポーツイベントへの支援

1-4 高齢者のスポーツ活動の推進

- ①教室・レクリエーション等の開催
- ②シニアクラブへの支援

1-5 スポーツ少年団の育成

- ①スポーツ少年団指導者の育成・確保の支援
- ②スポーツ少年団活動への支援

2 スポーツ施設等の整備・充実

2-1 スポーツ施設等の整備・充実

- ①スポーツ中核施設の整備・充実
- ②既存スポーツ施設の整備・充実
- ③スポーツ活動のための環境の整備
- ④スポーツ施設の効果的な運用

2-2 スポーツ活動の場の提供

- ①学校施設の利用の推進
- ②身近な施設での場の確保

基本
目標

施策目標

具体的な取組

3 スポーツ推進体制の整備

3-1 総合型地域スポーツクラブの育成

①「かみすスポーツクラブ」の運営支援

②市民への啓発活動の促進

3-2 スポーツ指導者の育成・確保

①スポーツ指導者の発掘・育成

②スポーツ指導者研修の充実

③スポーツボランティアの確保と活動の促進

④スポーツの専門知識を持った人材活用

3-3 スポーツ関係団体との連携強化

①スポーツ団体への支援

②鹿島アントラーズ、茨城ロボッツ及び
茨城アストロプラネッツとの連携

3-4 スポーツに関する情報提供の充実

①スポーツ情報の効果的な提供

4

茨城国体を契機とした
更なる競技力向上対策の推進

4-1 競技力向上のための支援体制の充実

①競技力向上の支援

5

スポーツによる
まちの活力づくりの推進

5-1 地域経済を潤すスポーツイベント
事業等の促進

①スポーツイベント事業等の開催

②スポーツ合宿等の情報発信の強化
(スポーツツーリズムの推進)

第6章 施策の展開

1 基本目標1 生涯健康スポーツ活動の推進

施策目標 1-1 児童・生徒のスポーツ活動の推進

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツ教室・講習会の開催	市民意識調査では、今後参加してみたいスポーツイベントとして、「プロスポーツ選手との交流・試合観戦」が35.8%と最も多かったことから、トップアスリートによるクリニックの開催を推進していきます。	文化スポーツ課
② スポーツ大会等の開催	小学校駅伝大会を継続していくとともに、市民意識調査では、今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策として、「子どものスポーツ活動の推進」が30.6%と3番目に多かったことから、親子参加型イベントの企画を検討していきます。	文化スポーツ課
③中学校部活動等への支援	中学校における部活動の中で、各種大会等に参加するための交通費・宿泊費などを補助金として交付し、部活動を推進していきます。	学務課
	部活動指導員を8名配置できるようにし、競技経験のない教員に代わって専門的指導ができるように斡旋していきます。外部指導者についても積極的に活用するよう働きかけていきます。	教育指導課

施策目標 1-2 成人のスポーツ活動の推進

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツ大会や競技会の開催	市民意識調査では、今後参加してみたいスポーツイベントとして、「プロスポーツ選手との交流・試合観戦」が35.8%と最も多かったことから、トップアスリートによるプロスポーツの試合(国内男子プロバスケットリーグ【Bリーグ】、バスケット女子リーグ【Wリーグ】)等の誘致を推進していきます。	文化スポーツ課
③スポーツ健康教室等の開催	市民意識調査で、参加したスポーツイベントでは、「神栖市はさきさわやかランニング大会」が前回調査より9.0ポイント多くなっています。また、「神栖市スポーツレクリエーション祭」は、4割を超えていることから、今後も継続して開催するとともに、参加者の拡大を図ります。	文化スポーツ課
③運動習慣導入支援の推進	集団健康教育事業については、委託事業として実施していますが、担い手となる事業者の確保が困難な状況です。受講者に対しては、教室終了後における同等運動レベルでの活動場所や活動団体を紹介し、行政が関わらなくても継続して運動できる仕組みづくりの構築支援をしていきます。	健康増進課
④ニュースポーツ等の普及	市民意識調査では、今後参加してみたいスポーツイベントとして、「eスポーツのイベント」が7.8%となっています。また、今後やってみたい運動・スポーツ種目でも「eスポーツ」が4.4%となっていることから、eスポーツの普及を目指します。	文化スポーツ課

施策目標 1-3 障がいのある人のスポーツ活動の推進

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツイベントへの支援	多くの参加者や応援者・見学者に参加してもらうため、呼びかけ方法等を検討していきます。また、会場づくりや運営方法についても障がいのある人に配慮した環境づくりに努めます。 ※鹿行地区身体障害者スポーツ大会は、毎年5市の持ち回りで開催しており、本市では令和4年度に開催予定です。	障がい福祉課

施策目標 1-4 高齢者のスポーツ活動の推進

具体的な取組	今後の取組	担当課
①教室・レクリエーション等の開催	スポーツ講座の開催については、男性の参加者が少ないことから、今後も男性の参加しやすい講座運営に努めます。また、充実した講座を開講していくために、高齢者の意向を把握するとともに、講座内容を見直していきます。	長寿介護課
②シニアクラブへの支援	○高齢者生きがい対策事業費補助金 高齢化に伴い、高齢者数は増加していますが、高齢者の意識の変化などにより、シニアクラブ数、会員数は減少傾向で、各大会等への参加者数も減少しています。今後は、介護予防対策の視点も含め、シニアクラブを活性化させ、自ら地域社会に参画し、生きがいを感じるような組織づくりをしていくことで、会員数の増加、各大会等への参加者の増加を図ります。	長寿介護課

施策目標 1-5 スポーツ少年団の育成

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツ少年団指導者の育成・確保の支援	スポーツ指導者を確保するとともに、活動支援体制を構築していきます。	文化スポーツ課
②スポーツ少年団活動への支援	近年、子どもの減少やスマホ使用の長時間化、猛暑による屋外での運動の制限、団体への所属意識の希薄化等により、団員数が減少傾向にあります。今後は、団員確保のための広報等を検討していくとともに、スポーツ指導者を確保しながら、少年団活動の活性化を図っていきます。	文化スポーツ課

2 基本目標2 スポーツ施設等の整備・充実

施策目標 2-1 スポーツ施設等の整備・充実

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツ中核施設の整備・充実	かみす防災アリーナの開館に伴い、市の中心部のにぎわいを創出するとともに、施設のよりよい活用方法について検討していきます。また、PFI手法によるノウハウを活用し、運営・維持管理をしていきます。	文化スポーツ課
②既存スポーツ施設の整備・充実	多くのスポーツ施設で老朽化が進んでいることから、継続して劣化度調査や補修を計画的に進め、安心・安全なスポーツ施設にリニューアルしていきます。	文化スポーツ課
③スポーツ活動のための環境の整備	各種大会、イベント主催者に運営方法をヒアリングし、開催にあたり適正な利用時間を再検討して、スポーツ活動等のための環境整備に努めていきます。	文化スポーツ課
④スポーツ施設の効果的な運用	神栖市矢田部サッカー場については、年々利用時間数が減少していることから、今後は、指定管理者と協議の上、利用時間の向上に向けた対応策を検討していきます。 また、市民意識調査では、市内の各スポーツ施設における利用料金や利用時間、予約システムについての見直しの要望もあることから、利用者に配慮した利用方法を検討していきます。	観光振興課 文化スポーツ課

施策目標 2-2 スポーツ活動の場の提供

具体的な取組	今後の取組	担当課
①学校施設の利用の推進	学校開放事業により、学校の施設を使用できることを広く周知していきます。利用者からは、スポーツ施設が老朽化しているとの声もあることから、利用団体、利用者の拡大を促進していきます。 また、団体等意識調査では、団体の主な活動場所として約6割が、「小・中学校の校庭・体育館」を挙げており、開放時間の延長や暑さ対策などの声もあることから、利用条件の見直しや環境の整備を検討していきます。	教育委員会
②身近な施設での場の確保	4館のコミュニティセンター（大野原、うずも、平泉、波崎東ふれあいセンター）では、体操やダンスなど軽スポーツ・ニュースポーツの活動の場として利用が可能です。スポーツ活動の場として使用できることを周知するとともに、利用者の拡大を促進していきます。 なお、各コミュニティセンターは、いずれの施設も老朽化してきていることから、計画的な改修、工事等により、整備及び管理していきます。	市民協働課

3 基本目標3 スポーツ推進体制の整備

施策目標 3-1 総合型地域スポーツクラブの育成

具体的な取組	今後の取組	担当課
①「かみすスポーツクラブ」の運営支援	今後も継続して、かみすスポーツクラブの運営に係る財政的支援をしていきます。	文化スポーツ課
②市民への啓発活動の促進	市民意識調査では、「総合型地域スポーツクラブ」、「かみすスポーツクラブ」を「知らない」との回答が、ともに8割前後となっています。今後はこの認知度を向上させるとともに、クラブへの加入者を増やすため、広報紙やホームページ等を利用して周知活動を推進します。	文化スポーツ課

施策目標 3-2 スポーツ指導者の育成・確保

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツ指導者の発掘・育成 ②スポーツ指導者研修の充実	新たなスポーツ指導者を発掘・確保し、スポーツ指導者への活動支援体制を構築していきます。	文化スポーツ課
③スポーツボランティアの確保と活動の促進	現在は情報提供のみを行っています。今後は、ボランティア募集情報をより広く広報するための手段や、市民とボランティア活動のコーディネートを行うための体制づくり及び方法を検討していきます。	市民協働課
④スポーツの専門知識を持った人材活用	生涯学習人材バンクへの登録者には、スポーツの専門知識を持った人材が少ないことから、人材バンク自体の認知度をあげ、制度の周知に努めます。	市民協働課

施策目標 3-3 スポーツ関係団体との連携強化

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツ団体への支援	今後も継続してスポーツ団体へ補助金を交付するとともに、スポーツ関係団体の活動実績等を把握しながら、情報交換を行い、スポーツ関係団体の自主的な活動を支援していきます。 また、団体等意識調査では、運営上の課題として、「会員の確保」を挙げた団体が約7割もあったことから、団体と連携を図りながら、会員獲得の方策を検討していきます。	文化スポーツ課
②鹿島アントラーズ、茨城ロボッツ及び茨城アストロプラネッツとの連携	鹿島アントラーズのホームタウンである鹿行5市とスポーツを通じて地域社会と一体となった社会貢献を目指すアントラーズが連携し、鹿行地域の振興を図ることを目的として来場者への特産品の配布などを継続し、来場者の増加を図ります。また、神栖市では令和元年2月17日(日曜日)に茨城ロボッツ、2月19日(火曜日)に茨城アストロプラネッツとそれぞれ「フレンドリータウン協定」を締結しました。この締結により、かみす防災アリーナや海浜球場での公式戦開催など、両者協力のもと、地域活性化やスポーツの振興・普及促進等を推進していきます。	文化スポーツ課 政策企画課 観光振興課

※茨城ロボッツ：2013年に誕生した、水戸市・つくば市を中心に活動しているプロバスケットボールチーム。

※茨城アストロプラネッツ：茨城県内を本拠地として、2019年4月からプロ野球独立リーグ、ルートインBCリーグに参入しているプロ野球球団。

施策目標 3-4 スポーツに関する情報提供の充実

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツ情報の効果的な提供	現在、生涯学習情報誌「まなびアイかみす」や「広報かみす」、文化スポーツニュース(年5回)によりスポーツ情報を提供しています。 市民意識調査では、今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策として、「スポーツに関する広報等の情報提供」が約2割となっていることや自由記述でもスポーツイベント等の情報提供を望む声が寄せられていることから、各担当課で連携を図りながら、SNS等の活用も視野に、今後も効果的な情報提供に努めていきます。 また、市内の各スポーツ施設の利活用方法の情報も提供していきます。	市民協働課 文化スポーツ課

4 基本目標4 茨城国体を契機とした更なる競技力向上対策の推進

施策目標 4-1 競技力向上のための支援体制の充実

具体的な取組	施策の実施状況	担当課
①競技力向上の支援	茨城国体の天皇杯、皇后杯の獲得を受け、本市においても、関係諸団体との連携強化を図り、一般部門だけではなく、シルバー、ジュニア、障がい者各部門の競技力向上とスポーツ活動の支援を継続していきます。	文化スポーツ課

5 基本目標5 スポーツによるまちの活力づくりの推進

施策目標 5-1 地域経済を潤すスポーツイベント事業等の促進

具体的な取組	今後の取組	担当課
①スポーツイベント事業等の開催	市民意識調査では、今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策として、「子どものスポーツ活動の推進」、「高齢者のスポーツ活動の推進」が約3割、「各種スポーツ大会やイベントの開催」が2割となっています。 このことから、トップアスリートとのふれあい体験や各種競技のプロスポーツの試合の誘致をはじめ、各種スポーツ大会やスポーツイベントを企画し、参加者の増加を図っていきます。	文化スポーツ課
②スポーツ合宿等の情報発信の強化（スポーツツーリズムの推進）	2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ地として、平成30年11月にチュニジアオリンピック委員会と基本合意書を締結しました。今後は、チュニジア共和国を中心に、諸外国、各種競技の事前キャンプの誘致を行います。 また、茨城県と連携強化し、神栖市を国内外にPRする活動を展開していきます。	政策企画課
	サッカー以外のスポーツ合宿地としての認知度を向上させ、「知る」「来る」「満足する」の各項目の向上に取り組むとともに、スポーツツーリズムによる交流人口の増加、地域経済の活性化に取り組んでいきます。	観光振興課

◆本市においては、平成30年度にスポーツツーリズム推進室が発足しました。
スポーツツーリズム推進室では、1年を通して温暖な気候と多くのスポーツ施設を活かし、市内での宿泊を伴うスポーツ大会やイベント開催、合宿を希望している方の受付窓口として、各種イベントの開催に向けたサポートをしています。

※スポーツツーリズム：スポーツ庁が「スポーツによる地域活性化の推進を図る取組」として推進している考え方。プロスポーツの観戦者やスポーツイベントの参加者と開催地周辺の観光とを融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などを目指す取り組み。

第7章 計画の推進体制

1 スポーツ行政の総合的な推進と進行管理

(1) 市民との協働

スポーツ振興を推進していくために、行政は市民のスポーツ活動の現状や要望に耳を傾け、よりよい環境にするとともに、多種多様な大会や教室、イベントを開催していきます。また、市民が積極的にスポーツ活動をするとともに、ボランティアとして活動に参画するなど、行政と市民の協働体制を構築していきます。

(2) スポーツ団体等との連携

各スポーツ団体の活動内容を把握するとともに、情報交換の機会を増やし、連携していきます。また、スポーツ推進審議会を定期的を開催し、スポーツ振興における問題や課題を協議していきます。

(3) 行政関係部署との連携

市では基礎体力・競技力の向上だけではなく、子どもから高齢者、また障がい者のスポーツ活動等、各種事業を通して支援していきます。また、行政関係部署との調整及び連携を図り、満足度の高い各種施策・事業を展開していきます。

2 計画の進行

本計画の推進にあたっては、市民と行政、スポーツ団体や関係機関が一体となって積極的に取り組んでいきます。また、スポーツツーリズムの推進による交流人口の拡大や地域経済への波及効果など地域の活性化を進めます。

3 計画の進行管理

本計画に掲げた施策・事業については、神栖市スポーツ推進審議会において、実施状況を報告、また審議するとともに、計画内容についても適宜、見直し及び検討することにより、計画の進行管理に取り組んでいきます。

資料編

1 神栖市スポーツ振興基本計画策定委員会設置要項

○神栖市スポーツ振興基本計画策定委員会設置要項

平成26年6月20日
教育委員会訓令第4号

(設置)

第1条 神栖市スポーツ振興基本計画(以下「計画」という。)の策定又は見直しをするため、神栖市スポーツ振興基本計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会が所掌する事項は、次のとおりとする。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) 計画の見直しに関すること。
- (3) その他委員会の設置目的を達成するために必要な事項。

(組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって構成する。

- 2 委員長には文化スポーツ課長、副委員長には委員長が指名した者をもって充てる。
- 3 委員には、別表に掲げる課の係長以上の職にある者をもって充てる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員長は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、文化スポーツ課において処理する。

(委任)

第7条 この訓令に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

付 則

この訓令は、平成26年6月23日から施行する。

付 則(平成27年教委訓令第9号)
この告示は、公布の日から施行する。

別表(第3条関係)

政策企画課
市民協働課
障がい福祉課
長寿介護課
健康増進課
施設管理課
観光振興課
学務課
教育指導課
文化スポーツ課

2 第2期神栖市スポーツ振興基本計画策定経過

項 目	事 項
スポーツに関する市民意識調査、 団体等意識調査の実施	●市民意識調査 調査期間:令和元年11月25日～12月10日 配布数:2,000票 回収数:618票 回収率 30.9% ●団体等意識調査 調査期間:令和元年12月10日～12月23日 配布数:300票 回収数:173票 回収率 57.7%
第1回 第2期神栖市スポーツ振興基本計画 策定委員会 開催日:令和2年2月4日 15:00～	議題1 策定委員会の役割等について 議題2 第2期計画(素案)について 議題3 今後のスケジュールについて
第1回 神栖市スポーツ推進審議会 開催日:令和2年2月6日 18:00～	議題1 第2期神栖市スポーツ振興基本計画(素案) について 議題2 今後のスケジュールについて
パブリックコメントの実施	令和2年2月15日～3月16日
第2回 第2期神栖市スポーツ振興基本計画 策定委員会 開催日:令和2年3月●日 ●:00～	議題1 議題2
第2回 神栖市スポーツ推進審議会 開催日:令和2年3月●日 ●:00～	議題1 議題2
第2期神栖市スポーツ振興基本計画(案) の答申 答申日:令和2年3月●日	第2期神栖市スポーツ振興基本計画(案)の答申
教育委員会定例会 開催日:令和2年3月●日	第2期神栖市スポーツ振興基本計画の決定

3 神栖市スポーツ推進審議会委員名簿

役 職	氏 名	所 属
会 長	松沢 弘一	神栖市体育協会副会長
副会長	大高 達也	かみすスポーツクラブ会長
委 員	奥主 義恵	神栖市体育協会副会長
	佐藤 幸男	神栖市スポーツ少年団本部長
	坂本 鉄夫	神栖市シニアクラブ会長
	原 範子	神栖市女性団体連絡会会長
	大塚 正美	城西国際大学教授
	金井 辰彦	県立神栖高等学校 保健体育課
	柏葉 伸一郎	神栖第一中学校長
	塙 茂子	神栖市スポーツ推進委員
	野口 修一	神栖市企画部長
	高橋 英樹	公募委員

4 第2期神栖市スポーツ振興基本計画策定委員会委員名簿

所 属		氏 名
文化スポーツ課	委 員 長	小貫 藤一
長 寿 介 護 課	副委員長	保立 純子
観 光 振 興 課	委 員	平野 祐司
政 策 企 画 課	委 員	伊藤 徹八
市 民 協 働 課	委 員	津賀 勇人
障 が い 福 祉 課	委 員	江波戸 賢一
健 康 増 進 課	委 員	橋本 雅子
施 設 管 理 課	委 員	伊藤 博志
学 務 課	委 員	今井 和代
教 育 指 導 課	委 員	浅沼 博
(公財)神栖市文化・スポーツ振興公社	事務局長	横田 昇一
かみす防災アリーナ PFI 株式会社	統括管理責任者	小宮 高之
文化スポーツ課	事 務 局	西廣 純一
		村田 光
		井坂 啓人

第2期神栖市スポーツ振興基本計画

令和 2(2020)年 3 月

神栖市教育委員会文化スポーツ課

〒314-0192 茨城県神栖市溝口 4991 番地 5

電話 : 0299-77-7495

FAX : 0299-77-7703

E-mail : b-sports@city.kamisu.ibaraki.jp
